

さいごく  
「西国三十三所観音霊場」徒歩順（巡）礼  
[松陰・六部・童財善子] もどき  
～スルーハイク・ドキュメンタリー～

実施結果 かんぽ  
貫（完）歩記録

2019(平成31)年<sup>自宅発</sup>4月1日(月)～同(令和元)年<sup>自宅着</sup>5月10日(金)

だいこう  
大香ブランド<sup>ろうこん</sup>老魂サブタイトルは、  
[ 西国へんろハート作図-両眼(両面眼力)培養大作戦 ]

(大 沼 <sup>かおる</sup>香)

本書は、実地踏査中の歩いている時に浮かんで来た諸々の雑念を少し整理して、自分の中のもう一人の自分（影）に対する報告書、自家撞着問答集です、遊び心をランダムに並べて書いたものです。あの世に持って行く自分史の一端です。

.....

この間における様々な出来事は山ほどありますが、本書は要点を記述したものです。また、本書中の国土地理院地形図を切り取った図の中の赤色、あるいは紫色の実線（太い実線）は、私が歩行持参（携行）したGPS機の軌跡（GPSトラックログ）です。

.....

なお、誤字脱字や日本語文法上の間違いが多数あるはずですが、本書は世に問うもの、広く配布するものではないので、考え方や過ちを指摘されても、批評・批判されても浅学菲才の私にとって、如何ともし難く詮無いことです、性格（性質）の投影故にこれを以って私の限界です。

可笑<sup>おか</sup>しな処に気付いた場合は、読み手のお方が、その聡明な頭脳を以って、自由に解釈して貰えればいいし、想像力と創造力を逞しく発揮し、ご自分の世界へ反映して貰えればそれで結構でございます。

.....

西国三十三観音霊場については、数多くの紀行文や案内書や學術書が販売されており、浅薄な私の及ぶ処ではありません、よって、本書は私の体験を通したことに絞って、私の率直な目線で概要を記述しています。

「西国三十三所観音霊場順（巡）礼」の「大香ブランド老魂サブタイトル」を

「西国へんろハート作図-両眼(両面眼力)培養大作戦」

とした理由・背景について

私は常々素直に自由人でありたい、自由人になりたいと思っています。

あらゆるもの・ことに対する本当の真の眼差しとは、複合的視座からの徹底した両眼照射、両眼受容の姿勢ではないのかと考え、左右両極を洞察出来る両面眼力を磨いてこそ、真理を直観（直感）する“こころ”が培われるものではないかと思ひ、我が身の偏った独善を正すべく次の手を打ちたいと念ずるようになりました。

### □1 目（両眼）のこと

人間の目についてです、目は二つあります。図-1（日本オプトメトリック協会 HP より拝借）のように網膜に映る像は上下左右が逆さまになっています。その認識作用は図-2（Kedsnet より拝借）のとおり、ものを見た時、右の目と左目に入った像は、脳へ送られるが、内側半分は反対の脳に送られて認識します、わざわざ半분을クロスさせているのです。なお、聴覚も視覚と同様に半分ずつ交差させています、脳の左脳は論理思考を、右脳は情緒思考を掌つかさどっています。このようにして受けた映像を脳で纏めて1つの新しい映像として認識（再生復元）します、この働きを両眼視りょうがんしと謂います。この両眼視という働きで物体を立体的に見たり、奥行きや遠近感を感じることが出来ます。敢えて、上下左右を入れ替えたり、クロスさせたり真逆の動きを敢えてさせてこそその正常な造影認識となります。何と素晴らしい機能なのか神様の成せる技です。

さて、世の中は、人間も須らく理想と現実、建前と本音のように陰陽2項対立で揺動しています。今に生き、今を語れる私の人生は、母親の胎内にいた時から今日までの過去の累積の結果であり、罪・穢れとが・咎の心の汚れがこびり付いてもがいています。臆病で小心者の私は、些細なことに喜怒哀楽の“こころ”がざわつき波立ちます。もの・ことを片面からしか見ない、一方向からしか見られない、平板上でしか見ないのが私（人間）です。“俺の信念だ”などどいつまでも強弁して謙虚になれない、偏屈な視野狭窄症を発症しながら気付かないのが悲しいかな人間です。神様から、親から頂戴したせっかくの目（両眼）の構造、両眼視機能を活かし切っていないのです。

両眼視を刺激する人間生き方の至高指針「色不異空・空不異色・色即是空・空即是色」の心持ちを与えて下さる「般若心経」を何回唱えたことか、数え切れないほど唱えました。60歳の定年退職後、これまでの9年半年間に歴史街道と四国へんろを合わせた歩き旅を正味394日間・12,450km貫かん（完）歩した

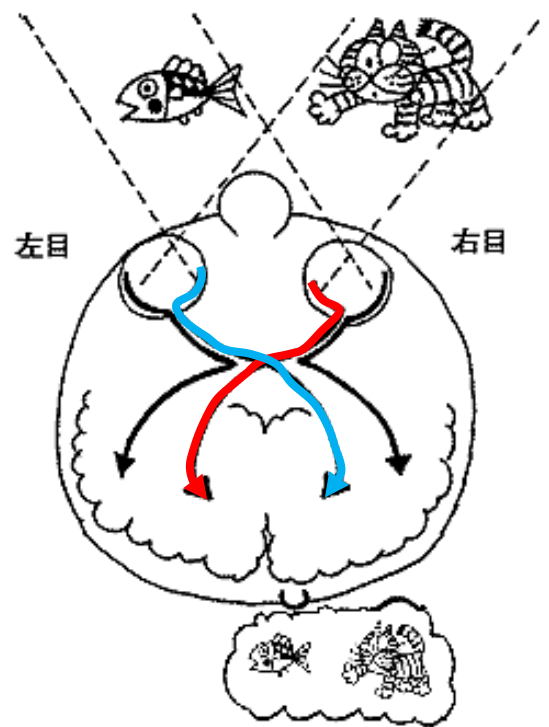
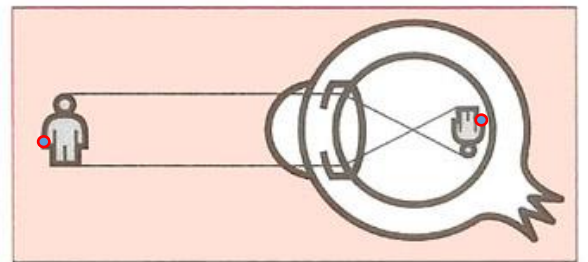


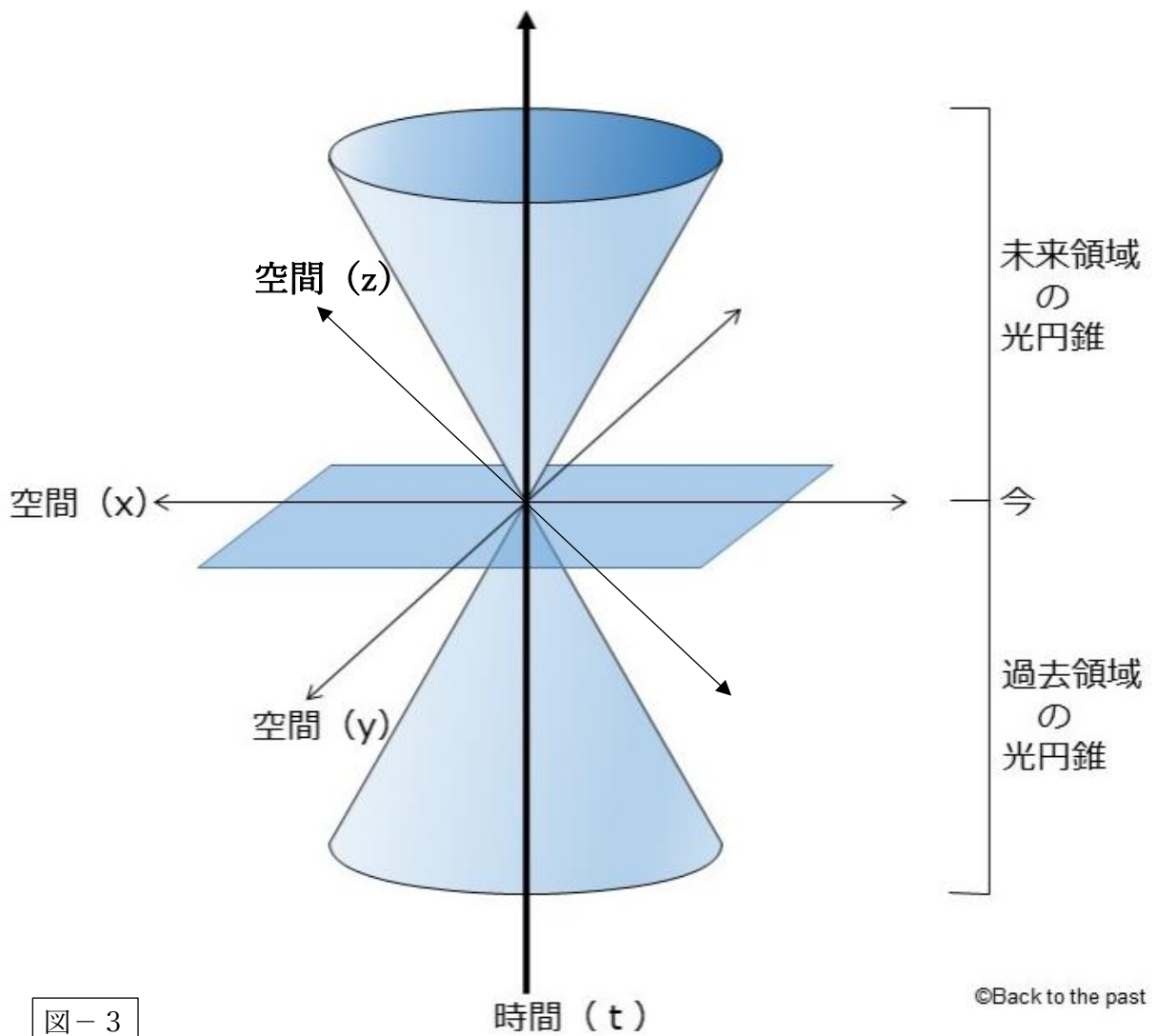
図-2

が、人間性は一向に向上しません。

生き方も人間性も“重厚長大”と理屈で分かっているつもりでも、現実の自分は“軽薄短小”そのものではないか、時に自己嫌悪、時に自虐に陥ります。真善美の生き方と識者は言うが、私には快樂と享樂を追い求める貧しい心<sup>はびこ</sup>が蔓延っています、もがいても解かれませんが、困ったもんだ！

## □2 取り巻く時空のこと

しかし、今に億兆の言葉を以って愚痴を吐いても詮無いこと、人間みなに、私にも未経験ゾーンの未来がやって来ます、未来（未開・未発の時空）が待っています。ホーキング博士——イギリスの理論物理学者／学生の頃に筋萎縮性側索硬化症『ALS』を発症した『車椅子の物理学者』が提唱した「時空4次元（空間3方向+時間）宇宙モデル」の援けを借ります。そのイメージはインターネット「Back to the past」揭示の図-3のとおりで、縦軸に時間の流れを、横軸に空間の広がりを重ねたものです。



物理的な意味合いについてはいちいち説明はしません。私がこの図から読み取る学びの一端です。時間経過と空間との相対関係で『今』を見ます。『未来』域を吸い寄せ、『過去』域へ掃き出します、過去域を置いて、未来域を迎えに行きます。過去域内・未来域内においては、共にもの・こと（実存視認するものではなく、素粒子の先にある何か）が直線状に整列してものではなく、ランダムに散乱・充満しています。時間は刻々と流れます、相対的に空間も刻々と流動します。まだ見ぬ世界、初見の世界が途切れることなく押し寄せ、そして、記憶の彼方へ放出して行きます。

そうすると、今と発したその直後は、同時にとってもいい、過去ではなく、未来から過去への（過去から未来へと観ても良い）一瞬の転換点となります。未来・過去という対極域の転換点が故に今という時空は“0=無・空”と解せます。また、今は過去と未来を凝縮した結合点・集積点・集合点、対極両域の統合点とも解せるが故に今は“∞=無限大”でもあります。点は大きさや方向を持ちません、ただあるという位置のみです。「ないものはない」（あるとないのが同時混在）の世界です。

デジタル2値化視点——ある=1、ない=0——を取り入れると“1=∞、よって∞=1”です。一方、『無限大』という極の世界は世の森羅万象を含む意であり、統合された分別不可の世界、つまり、『無・空・中=0』でもあります。あると言えばある、ないと言えない、の世界です。よって、今この瞬時は“0=∞=1”なのです、対立・対極・矛盾にあるもの・ことの同時存在です。「無分別智」の世界です。

こんな見方も出来ます。幼児は生（誕生）の境界にいる者、老人（翁）は死の境界にいる者と謂われ対極的です。見方を変えれば、幼児は間違いなく未来の死に向かって進みますが、老人は間違いなく過去に生（誕生）を置いて来ました、すると同じ人間ながらも生と死、つまり過去と未来という時間軸にしては対極にあるものを抱えているということになります。いわば、過去=今=未来の等式を内包しているとも言えます、生身の人間の有り様を直視すれば観念論ではなく現実ということになります。

なのに、私はこの今を、好き嫌い、善悪、美醜の色眼鏡で分別し、誇るようになります、これが人間界の「分別知」（有限界の有限値）の世界です。これではダメ！ 俯瞰（縦方向強調）・鳥瞰（横方向強調）の眼力、透視力を養成したい、「無分別智」の世界をかじりたいと自戒を込めて思うこの頃です・・・。

### □3 西国順礼への<sup>うず</sup>疼き

そうこうしているうちに2019（平成31）年を迎え、改元の年（5月1日新元号発布）となります。また、私の年齢については、満69歳から70歳（6月）に切り替わります。さらには現在の自宅を建て替えてから丸10年（8月）になります。大きな節目の年であります。

このような現状において、納得の行く何かを敢行したいという欲求に駆られました。平たく言うと、時代は大潮流の転換の年に、日常的ではない従来とは変わったこと、つまり、節目となることをやってみたいと思ったものです。心の精神修養は、日々、その瞬間・瞬間の実践が大事だと謂われます。心に汚れがこびり付いて、剥がれなくなってからでは遅いという訳です。まだ、少しでも汚れを剥がしたい、落としたいという向上心の欠片は持ち合わせています、その心が疼きます。そして自由人でありたい！ 今の社会体制に抵抗し、社会を変えて我が儘を通す自由ではない、この現況において、社会から他人から束縛されない真の心身の自由です。健康体余命わずかの歳となって、今更他人から指示されるのはまっぴら御免、もちろん、他人を指示するなどとてもおこがましくまっぴら御免であります。

やりたいことは山ほどありますが、そんな心境の中で、以前から温めておいた、大念願でもあった

『西国三十三所観音霊場』参詣徒歩順礼に旅立つことにしました。そこで、いつもの「大香ブランド<sup>だいこう</sup>老魂<sup>ろうこん</sup>サブタイトル」を何と設定するのか。

# [I] 計画

## 1. 計画ルートの軌跡図を眺めて

スタートの1番那智山青岸渡寺（和歌山県東牟婁郡那智勝浦町）から順打ち（右回り）で、満願寺33番谷汲山華嚴寺（岐阜県揖斐郡揖斐川町）ゴールに至る歩行軌跡（予定・計画）は図-4aのとおりとなります。江戸時代後期の西国巡礼の大多数を占めた東国からの巡礼は、まずは伊勢神宮に参拝してから1番青岸渡寺に向かったという歴史に鑑みて、私の場合は華嚴寺を打った満願後に、伊勢神宮に報告とお礼参りを計画しました、するとその移動軌跡は図-4bの上半分となります。次に伊勢神宮から再度1番青岸渡寺に戻り、報告とお礼参りをすることも計画し、その移動軌跡は図-4bの下半分となります。ここで、33番華嚴寺から1番青岸渡寺までは大筋鉄道移動とするものの、その間に伊勢神宮における徒歩巡礼を含んで閉じることにします、理由は後記します。順礼結果の最終的な軌跡を図-4cのように描きたく計画しました。もちろん、軌跡が交差しない一筆書きに拘ったものです。



図-4a

(+)



図-4b

(=)



図-4c

## 2. トポロジーのこと

ここで唐突であるが、「やわらかい幾何学」と言われる『トポロジー』——数学の一分野の位相幾何学、何らかの形（かたち、あるいは「空間」）を連続変形しても（伸ばしたり曲げたりはするが、1個所であっても切ったり貼ったりはしないこと）保たれる性質（位相不変量）に焦点を当てた学問——を登場させます

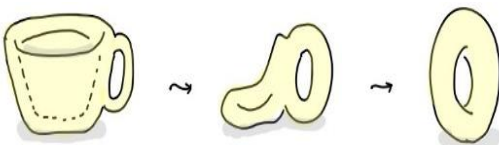


図-5

図-5において「コーヒーカップを、取っ手の輪っかを残すように変形するとドーナツの形に成ります。従ってコーヒーカップとドーナツは同じもの。」とする見方です。（難しい数学的理論は割愛）

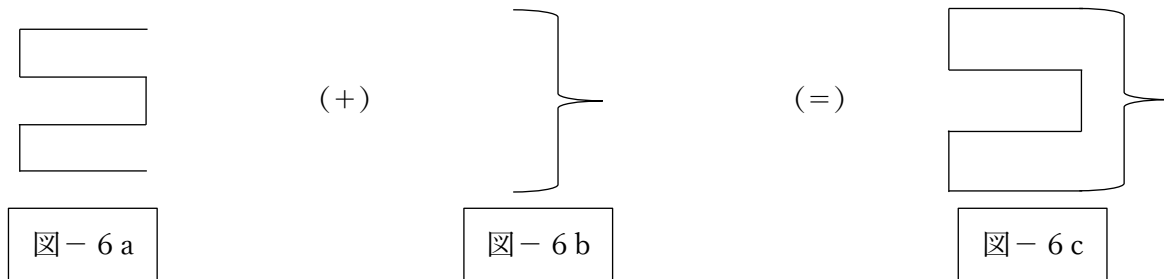
もっと簡単に言うと、三角形（△）と丸（○）と四角

（□）は、形はまったく違います、数学的定義も異なります。しかし、同じものとする見方でありませす。逆に、△・○・□に1個所でも切れ込みを入れて伸ばすと一つの直線になります。つまり、見た目での形は異なるが、一筆書きの線で描いた形ということでは同じものです。このような考え方、柔軟性

は大好きです、そのような観念を実行したいのです。

### 3. 計画ルート軌跡図のトポロジー化

図-4abc をトポロジー化の上でデフォルメ（誇張、強調して簡略化・省略化）すると図-6abc のようになります。



(1) まずは、図-4a (=図-6a) の1番青岸渡寺から33番華厳寺までのことです。

トポロジー化した軌跡図-6aを基本形とし、次頁図-7の最上位中央部に配置します。それを90度左回転と右回転させます、それぞれの凹凸図形をさらに回転させ、それを合体させると図-7の最下部中央部の図形(GT)になります。それをさらに、左回転のものと右回転のものに分離した——この取り出しの時、線の太さをわざと入れ替えています——のが図-8です。

凹凸(正逆)は、一方から見ての出っ張り(凸)は反対から見るとへっこみ(凹)、あるいは、一方から見てへっこみ(凹)は出っ張り(凸)に見えます。

図-7中の「基本形」は凹でもなく凸でもないが、ねじれ・ひねりを入れると<sup>◎</sup>凹<sup>◎</sup>凸となって現れるのです。反対に見れば<sup>◎</sup>凹<sup>◎</sup>凸は、元を質せば凹でもなく凸でもない「基本形」だったので、対立する正逆のもの・ことが同時存在・併存です。

なぜ、回転を意識するのか、前述、人間の目(両眼)の働きが頭にあります。固定つまり現状維持は何もしないことと同じ、停滞は後退と同じ、と言われます、私も嫌いです。ここでは基本形たる元々の形は変えていません。松尾芭蕉の「不易流行」の訓えに通じます。「不易」はいつまでも変わらないこと、変えないこと。「流行」は時代に応じて変化すること、変えること。相対立関係の立ち位置相互乗り換えの意図、統合そして調和へ誘導する意図です。一つのものの核となる価値の普遍性・永遠性を保持しながらも、時代の変化を先取りした不断の創意工夫の実践を学ぶことが出来ます。

生きている中で触れる全てのもの・ことに対し、些細なことにして、「ねじる、ひねる、裏返し、裏読み、斜め見」の多面的な視座、つまりは回転サーチ力が欲しいと思っています。

(2) 次に、図-4b(=図-6b)の33番華厳寺から伊勢神宮を經由して、1番青岸渡寺に戻る軌跡のことです。

なぜ、この軌跡の計画をするのか。次の理由があります。

その1;江戸時代における東国人々の西国巡礼スタートは伊勢神宮であったことにちなみ、私の場合は、満願ゴール報告のお礼参りとして参拝(立ち寄る)とすることにします。つまり、図-9abのとおり、順打ち、逆打ちにしても、同じ伊勢神宮に対して、相互可逆性関係にあるスタート基点と反対のゴール基点を与える行動、すなわち同じ点に対して発着の同時併存を与えることにしたのです。入りは出のはじめ、出は入りのおわりです。

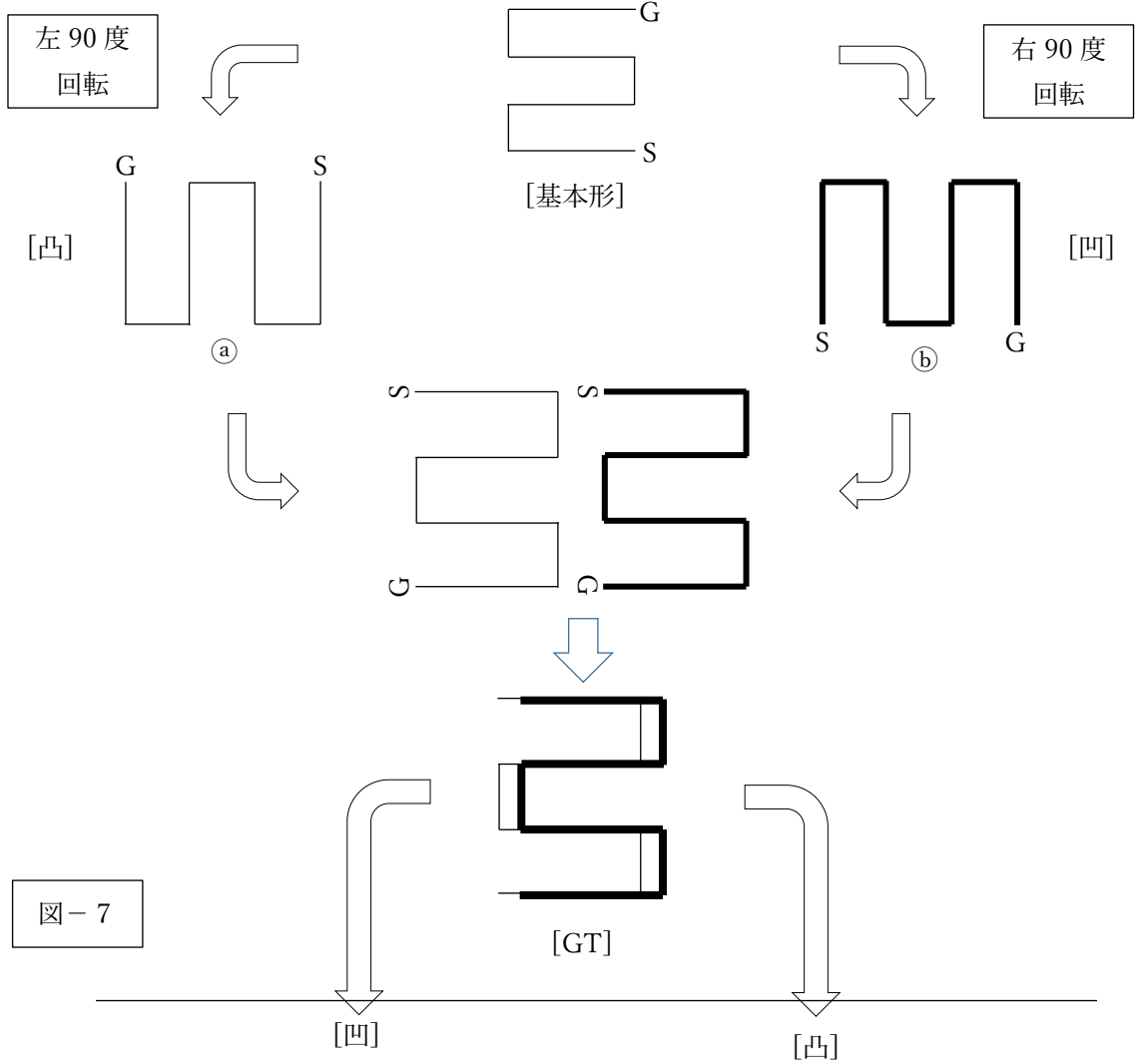
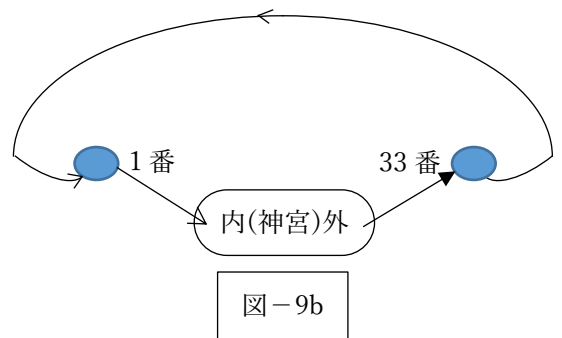
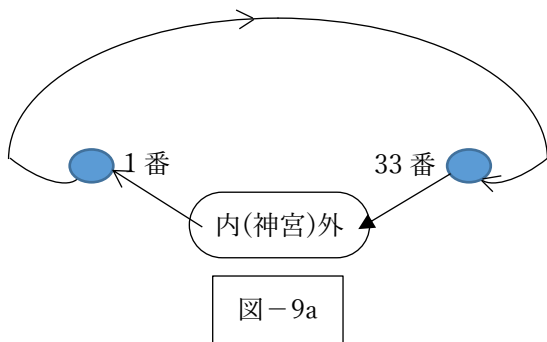
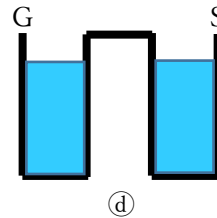
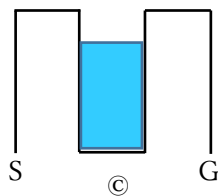


図-7

図-8



その2；図-4a (=図-6a)において、右方が開いていると中途半端を感じます、“阿 吽”を重ねるべく閉鎖するとの思いがあります。“阿”は口を開いて最初に出す音、“吽”は口を閉じて出す最後の音であり、そこから、宇宙万物の初めと終わりの象徴化、すなわち完結（起承転結の結）への誘導因子が『阿吽』です。つまり、閉じたい・締めたいのです、中締めです。



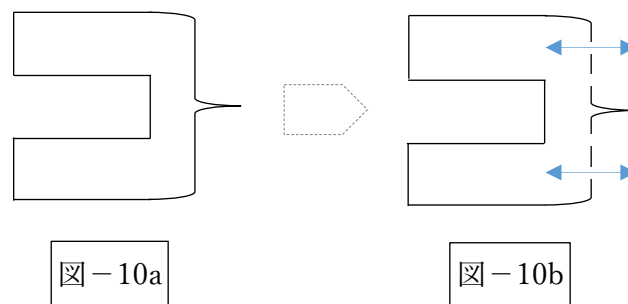
その3；1番青岸渡寺において、満願の誓いを立て、成就・達成の強い決意を持ったものの、いつ何時瓦解するかもしれない意志薄弱な我が心。青岸渡寺で読経し、いよいよスタートかという時に同寺の御本尊「如意輪観世音菩薩」(煩惱・執着の六道の無限ループから救い出してくれる仏)様から呼び止められ「おまえの満願への誓いが消え失せることのないよう『芯』を植え込んだ、その初心を次から次へと札所をリレーして行くこと！」と言明されたのです。その力添えで満願を果たすことが出来たとしたら、どうしても報告とお礼をしなければならない、よって戻らなければならないと誓ったのです。

その4；33番⇒1番への戻りの軌跡(作図)も歩いて描くのか、あるいは鉄道移動で描くのか、歩くとしても日数は十分にあります。生きている証拠の一つである、言葉の『阿』から『吽』までの発声は「吸引と排出」の呼吸を伴います。「吸引と排出」という相対立する機能を以って呼吸の“一”を成し、呼吸は滞留(=死、すなわち呼吸が止まれば、留まれば死に至る。)とは真逆の訓えがあるものと理解し鉄道利用と決めました。

その理由は以下のとおりです。

□1；地上を移動する手段は、「歩くこと」と「動力交通機関利用」の対極にある両面があります。

□2；図-4c(=図-6c)を抽出するが、歩きを実線で表示することとし、実際に歩いたとすれば、図-10aのようになります。形は閉曲するが、閉じ込められた内部環境(自分)と外部環境(社会)に呼吸はありません。やがて、内部は陳腐化、腐食・腐敗に陥ってしまいます。とても、悪いイメージです。



ならば、呼吸(内外アクセス)出来るようにするには、内外境界に流通現象相当の隙間があれば良い、図柄においては、図-10bのように点線(破線)にすれば良い、破線には隙間があり、すなわち、その隙間と呼吸孔を重ねた訳です。

そこで、「歩き=実線=歩き」ならば、点線は実線と反対、つまり、歩きとは対比概念の動力交通機関=鉄道になると見做した訳です。

「歩き=自力=実線表示」ならば、「点線表示=他力=動力交通機関」となるが故に鉄道利用は点線となります。逆に点線を欲すれば、動力交通機関を採用すべしとなったのです。

そこで、33番華嚴寺から伊勢神宮外宮までは鉄道移動、——外宮から内宮までは参詣古道を徒歩移動と計画し——同内宮から1番青岸渡寺までも鉄道移動の計画とします。

図-11左軌跡の同相概念図は同図右とおりで、鉄道移動軌跡を点線(破線)で表示します。

\*\*\*\*\*

なお、2011(H23)年4/6(水)~5/5(木)にかけて、29連泊30日間(849km)で「旧熊野古道(+旧西高野街道)」をスルーハイイクしていますが、その時のスタート点は伊勢神宮で、1番青岸渡寺までの「伊勢路」を7連泊8日間で全日歩行しました。

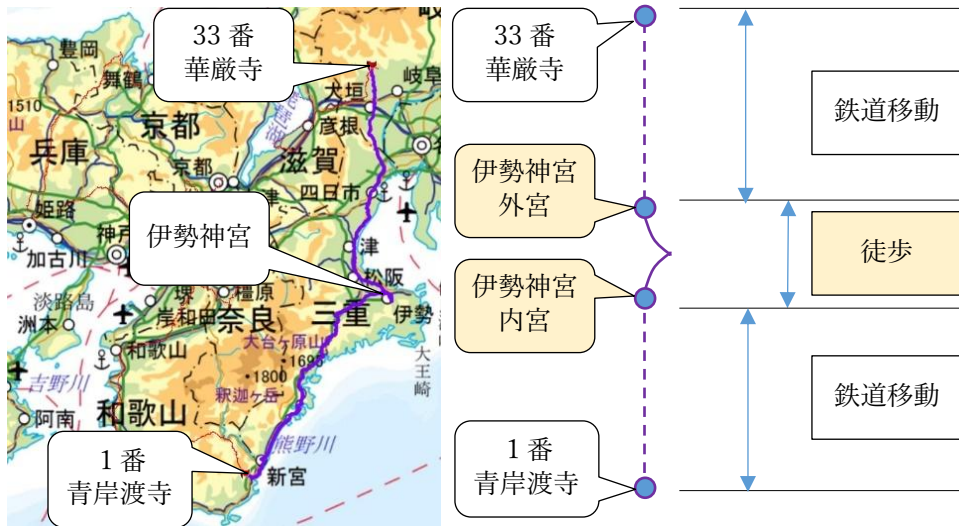


図-11

(3) “Improve Hitome eyes in the heart” (洞察力を磨け！)

これらを整理すると、三十三札所の始終の基点（基軸）となった1番青岸渡寺と満願寺33番華厳寺を目（両眼）として、全貌をトポロジー化したイメージ図推移は図-12のとおりとなります。私の順礼に伴う行動・移動軌跡の最終的仕上がりと同図の右端④の図柄としたい、として臨むことにしました。もの・ことに対する姿勢は、偏ったがんこものではだめ、という戒めを与えられたものと思い、ここに人間の「こころの目（両眼）」に繋がったのです。ついては、天からの“Improve Hitome eyes in the heart”の指令を授かり、心眼修養の歩き旅・スルーハイクに出ることとしました。

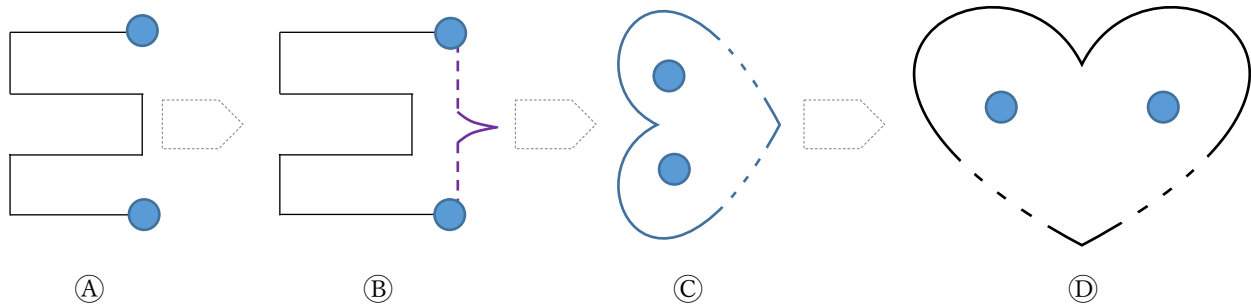


図-12

自然界の形・幾何——人工物の造形には興味はまったく無し——に色々想像・創造を加えて、自分の解釈・学びを展開するのがとても楽しいと思う性格です。

「抽象（想像・理想・建前・思い、夢と希望）を実現する力」を求めて、自らの「心・言・行」に係る日常行動の積み上げと旅の両輪を以って獲得したい！と念じています。しかし、現時の私はまだまだ足りぬ、努力が足りぬ！ 自戒と自虐が交錯し渦巻きますが、うつ病は発症しません。

4. 同タイトルの決定

以上の考え方を踏まえて、大香ブランド老魂サブタイトルを「**西国へんろハート作図-両眼(両面眼力)培養大作戦**」に決定したのです。両面眼力培養とは、吾が心の両眼（魔性と仏性の両心、左右上下対極

の両面を善しとする、対極にあるもの・ことを敢えて交錯させる柔軟な精神)を、最高感度のカメラとセンサーへ交換装着することです。もの・ことへの観察力感度アップ作戦です。

## [II] 実施結果

以上のような計画時の思いは、結果的に、実際に歩き通すことによって、その計画どおりに達成することが叶いました。軌跡・足跡を一切交差・交錯させることなく、一筆書きのGPS軌跡を描くことに成功したのです。

最終、この結果になった図-12④の訓えは、両面眼力を磨け・養えという観音様・天からの示唆・言明なのだと思います。理想的な生き方は、左右両極に視点を置きつつ、中央(中庸)に向かわせる柔軟視座を持ち、さらには、左右両極のあり様を侵略することなく、そのままを尊重しつつそこへ自在に行ったり来たり、あるいは左右対極を瞬時に立ち位置を交換し、とにかく、自由自在、自由奔放の自由人でありたい、のです。この歳になり、自らの中で、ましてや他人に向かって、ああでなければだめ、とか、こうでなければだめ、などという演説口調の考えを廃絶したいと考えています。

人間は、その性格の如何いかんに係らず建前は立派に立てられるが、そのとおりの有言実行は出来ないに等しい生き物です。私の現況は自らを縄で縛っているようなもの、自分自身が息苦しい！これを「ア縫ほう自じ」(アはアホウ・悪党のア)と称しています。そこで何とかしたい、融通無碍の自由人でありたい！これを「無縫自むほうじ(自らを縫っていない)」と称しています。係る人生を、授かったこの両眼の仕組みを以って学びたい！

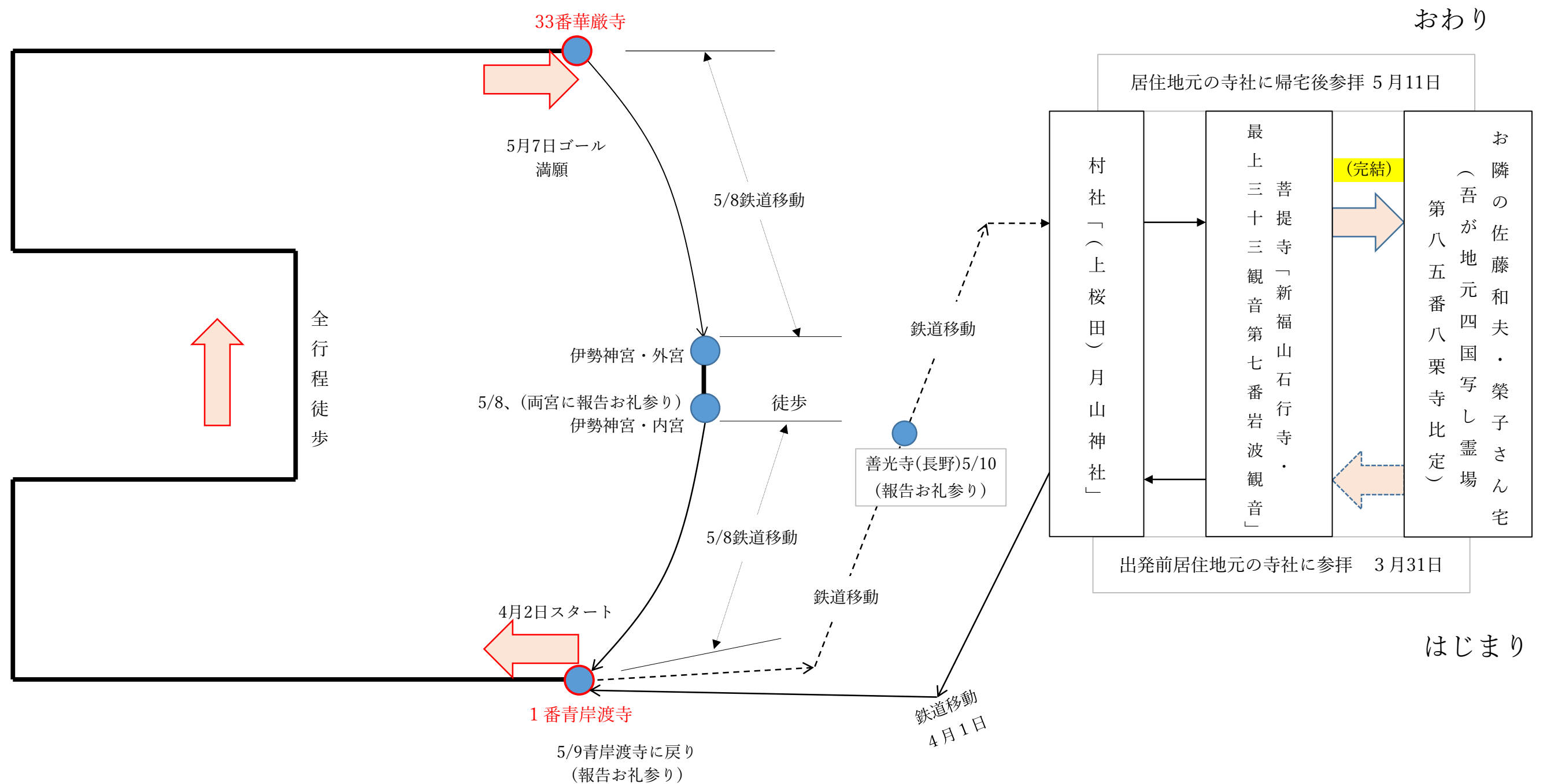
政治思想を色分けする時に、右翼(保守)と左翼(革新)の対比があります。厳格な定義は別として、考え方において何かに付けて、真逆・反対の立ち位置ということにしますが、私の心底には右翼的なものと左翼的なものが共存し、時に対立し、自己撞着・矛盾で右往左往、乱高下、ジクザクしています。一喜一憂しながらジレンマ・相剋を自覚するが、さりとて苦しくはありません、この感情の起伏はどこから来るのか、むしろ「探求心・好奇心・冒険心」が奮い立ちます。

私の人間としての基本要素「心・言・行」について、その思い「心(認識や精神)・言(言葉や言語)・行(行動や活動)」を、順に「榊さかさき・櫛しきみ・椿つばき」様相、「青木あおき・竹たけ・桜ざくら」様相、「蟻あり・亀かめ・蝶ちょう」様相に託して、それらを重ねた・抱えたトンガリ変態として、この名に恥じないように自由を満喫、楽しく生きたいものです。

# 2019(平成31-令和元)年「西国三十三所観音霊場順礼」実施結果の全体行程構図

◎1番～33番 徒歩順礼スルーハイク：正味4月2日（火）～5月7日（火）35連泊36日間（純歩行距離1,071km）

- 5月 8日（水）；伊勢神宮 外宮と内宮に、満願報告とお礼参り
- 5月 9日（木）；再度1番青岸渡寺に戻り、満願報告とお礼参り
- 5月10日（金）；善光寺（長野）に、満願報告とお礼参り



実際の歩行・移動のGPS軌跡（トラック・ログ）



図中の赤色実線と紫色実線（太い線）は、シャープ社の「スマートフォンAQUOS（SH-M07、アンドロイド8・0・0）」にインストールしたアプリ（地図ロイド『地図』と山旅ロガー『トラック記録用』）に記録されたGPS軌跡（緯度・経度&タイムの自動電子スタンプ機能）です。

全ての移動軌跡を記録したので、細部を確認すると、全てを歩いたという事と、立ち寄り場所が判明し、札所間全道歩き貫（完）歩の客観的な科学的・デジタル証拠を保持している事になっています。なお、ガーミン社のGPS機「オレゴン650」も携行し記録したが、同様の結果であります。

携行したGPS機の軌跡

**満願之証**  
**大沼香殿**

あなたは深い信仰心によって  
このたび西国三十三観音霊場を  
巡拝し満願打ち納めとなりました  
茲にその徳をたえ貴家の繁栄を  
祈念しこれを証します

令和元年五月七日

日本百観音 満願霊場 美濃国 谷汲山  
西国三十三番 美濃国 谷汲山 華厳寺  
美濃国 谷汲山 華厳寺 久保寺 美好

## 「西国三十三所観音霊場順礼」の全行程集計表

2019  
H31-R元

&lt; 携行したSHARP社の「スマートフォンAQUOS (地図ロイドと山旅ロガーのアプリ)」と「カシミール3D (フリーソフト)」により集計 &gt;

累積 日数	行動月日		順礼道の歩行区間 主要な通過地点名・始終点	実歩行 距離 km	歩行時間			平均 時速 km/h	天候	備考	宿泊先	
	月 日	曜 日			開始 時:分	終了 時:分	時間:分				所在地	名称
	(前行程)	3月31日	(日)	地元の菩提寺・神社、お隣さんに挨拶	---					晴		
	4月1日	(月)	山形から紀伊勝浦へ鉄道利用による移動	---					晴		和歌山県那智勝浦町	パルスイン勝浦
以下、本番行程												
1日目	4月2日	(火)	[補陀落山寺]→1番青岸渡寺→[大雲取越]→(宿)	22.7	6:35	15:00	8:25	2.7	快晴	start	和歌山県熊野川町	小口自然の家
2日目	4月3日	(水)	(前終点)→[小雲取越]→熊野本宮大社→(宿)	20.0	7:43	14:45	7:02	2.8	快晴		和歌山県本宮町	あたらしや旅館
3日目	4月4日	(木)	(前終点)→[赤木越]→[三越峠]→(宿)	23.3	7:20	15:54	8:34	2.7	晴		和歌山県田辺市	お宿 月の家
4日目	4月5日	(金)	(前終点)→[十丈峠]→[塩見峠]→(宿)	28.5	6:49	15:20	8:31	3.3	曇・快晴		和歌山県田辺市	未来農園の農家民泊
5日目	4月6日	(土)	(前終点)→[榎木峠]→(宿)	31.4	7:24	15:21	7:57	3.9	曇・快晴		和歌山県名田町	民宿はしもと
6日目	4月7日	(日)	(前終点)→[鹿ヶ瀬峠]→(宿)	30.7	6:57	15:10	8:13	3.7	晴		和歌山県湯浅町	民宿てまり
7日目	4月8日	(月)	(前終点)→[糸我峠]→2番紀三井寺→(宿)	31.0	6:55	16:14	9:19	3.3	曇・快晴		和歌山県和歌山市	ビジネス旅館阪和荘
8日目	4月9日	(火)	(前終点)→3番粉河寺→(宿)	29.3	7:35	15:44	8:09	3.6	曇・快晴		和歌山県紀の川市	船津家旅館
9日目	4月10日	(水)	(前終点)→[七越峠]→4番施福寺→(宿)	22.2	7:58	14:49	6:51	3.2	小雨	一日中雨具着用	大阪府槇尾山町	槇尾会館
10日目	4月11日	(木)	(前終点)→[河内長野]→5番葛井寺→(宿)	30.0	7:01	16:01	9:00	3.3	晴		大阪府藤井寺市	旅館千成家
11日目	4月12日	(金)	(前終点)→[神武天皇陵]→[橿原神宮]→(宿)	30.7	7:38	15:58	8:20	3.7	晴		奈良県明日香村	農家民宿とまりゃんせ
12日目	4月13日	(土)	(前終点)→6番南法華寺→7番岡寺→ 8番長谷寺→番外法起院→(宿)	29.7	6:53	15:38	8:45	3.4	晴		奈良県桜井市	湯元 井谷屋
13日目	4月14日	(日)	(前終点)→9番南円堂→ [東大寺の二月堂・手向山八幡宮]→(宿)	39.7	6:16	16:26	10:10	3.9	小雨	一日中雨具着用	奈良県奈良市	ゲストハウス 奈良バック パッカーズ
14日目	4月15日	(月)	(前終点)→10番三室戸寺→(宿)	37.3	6:32	17:25	10:53	3.4	晴		京都府京都市	ゲストハウス月兎
15日目	4月16日	(火)	(前終点)→11番醍醐寺→12番正法寺→ 13番石山寺→14番園城寺→(宿)	27.9	8:15	16:27	8:12	3.4	快晴		滋賀県大津市	旅館植木屋
16日目	4月17日	(水)	(前終点)→番外元慶寺→15番今熊野観音寺→ 16番清水寺→17番六波羅蜜寺→18番頂法寺→ 19番行願寺→[二十六聖人関連個所立寄]→(宿)	26.7	7:04	16:08	9:04	2.9	薄曇		京都府京都市	ホテルグラッドワン京都 四条大宮
17日目	4月18日	(木)	(前終点)→20番善峯寺→(宿)	33.0	6:35	16:38	10:03	3.3	薄曇		京都府亀岡市	BH サンロイヤル
18日目	4月19日	(金)	(前終点)→21番穴太寺→ [茨木市立キリシタン資料館]→22番総持寺→(宿)	35.1	6:54	16:18	9:24	3.7	薄曇		大阪府茨木市	ホテルクレストいばらき
19日目	4月20日	(土)	(前終点)→23番勝尾寺→24番中山寺→(宿)	34.2	6:21	15:32	9:11	3.7	快晴		兵庫県宝塚市	宝塚ワシントンホテル
20日目	4月21日	(日)	(前終点)→番外花山院菩提寺→(宿)	36.7	6:12	15:17	9:05	4.0	曇・快晴		兵庫県三田市	神戸三田ホテル
21日目	4月22日	(月)	(前終点)→25番播州清水寺→(宿)	35.8	6:16	15:27	9:11	3.9	曇・快晴		兵庫県加東市	オリンピックホテル
22日目	4月23日	(火)	(前終点)→26番一乗寺→(宿)	31.4	6:45	14:41	7:56	4.0	晴		兵庫県姫路市	シロノシタゲストハウス
23日目	4月24日	(水)	(前終点)→27番圓教寺→(宿)	27.0	7:25	15:17	7:52	3.4	小雨	一日中雨具着用	兵庫県福崎町	美香荘
24日目	4月25日	(木)	(前終点)→(宿)	26.1	7:23	15:51	8:28	3.1	一時小雨	2時間雨具着用	兵庫県神河町	お宿 播但
25日目	4月26日	(金)	(前終点)→(宿)	32.2	6:57	14:44	7:47	4.1	小雨	一日中雨具着用	京都府福知山市	夜久野高原温泉「やくの荘」
26日目	4月27日	(土)	(前終点)→[神懸峠]→(宿)	35.8	6:40	15:07	8:27	4.2	時々小雨	5時間雨具着用	京都府与謝野町	野田川ユースセンター
27日目	4月28日	(日)	(前終点)→28番成相寺→[元伊勢籠神社]→ [真名井神社]→[天橋立]→(宿)	24.8	7:04	15:50	8:46	2.8	晴		京都府宮津市	銀水
28日目	4月29日	(月)	(前終点)→(宿)	31.6	6:51	14:34	7:43	4.1	曇		京都府舞鶴市	ホテルアルスタイン
29日目	4月30日	(火)	(前終点)→29番松尾寺→(宿)	26.8	7:31	15:00	7:29	3.6	雨・曇	午前中雨具着用	福井県おおい町	ホテルパスタタイム

以上は「平成」の時代

以下は「令和」の時代

累積 日数	行動月日		順礼道の歩行区間 主要な通過地点名・始終点	実歩行 距離 km	歩行時間			平均 時速 km/h	天候	備考	宿泊先		
	月 日	曜 日			開始 時:分	終了 時:分	時間:分				所在地	名称	
	30日目	5月1日	(水)	(前終点)→[若狭彦・若狭姫神社]→[若狭 神宮寺]→ [鵜の瀬]→<新平野駅>..... 同駅より鉄道移動で小浜駅・宿へ	31.2	7:04	16:41	9:37	3.2	小雨	一日中雨具着用	福井県小浜市	ビジネスホテルれんが亭
31日目	5月2日	(木)	宿から電車移動で.....<新平野駅、前日の終点に復帰> →[水坂峠]→<近江今津船着場>→<近江今津駅>..... 同駅より鉄道移動で新旭駅→宿へ	28.1	7:54	14:49	6:55	4.1	小雨・晴	3時間雨具着用	滋賀県高島市	鳥居楼	
32日目	5月3日	(金)	宿から電車移動で.....<近江今津船着場、前日の終点 に復帰>→<渡船>⇒30番(竹生島)宝蔵寺→<渡船>⇒ <長浜船着場>→(宿)	11.0 0.7 13.7 14.3	9:10 9:37 10:50 11:24	9:37 10:50 11:24 15:50	0:27 1:13 0:34 4:26	24.4 0.6 24.2 3.2	快晴	渡船(琵琶湖上) 竹生島内参拝(徒歩) 渡船(琵琶湖上) 徒歩	滋賀県彦根市	彦根の町家 本町宿	
33日目	5月4日	(土)	(前終点)→31番長命寺→(宿)	31.0	7:35	16:56	9:21	3.3	快晴		滋賀県近江八幡市	近江八幡ユースホテル	
34日目	5月5日	(日)	(前終点)→32番観音正寺→(宿)	35.2	6:39	16:26	9:47	3.6	快晴		滋賀県米原市	東横INN 米原駅新幹線西口	
35日目	5月6日	(月)	(前終点)→[関ヶ原戦場跡]→(宿)	28.7	6:25	15:05	8:40	3.3	快晴		岐阜県垂井町	いのしし亭・桐山荘	
36日目	5月7日	(火)	(前終点)→ <sup>コチボラ</sup> 33番華蔵寺→<木知原駅>..... 同駅より鉄道移動で大垣駅前宿へ	29.7 20.0	6:55	14:30	7:35	3.9	快晴	満願達成(goal)	岐阜県大垣市	アパホテル 大垣駅前	
37日目	5月8日	(水)	大垣駅.....(鉄道).....伊勢市駅 伊勢市駅→伊勢神宮・外宮→(古道歩行)→伊勢神宮・ 内宮→[猿田彦神社]→五十鈴川駅 五十鈴川駅.....(鉄道).....紀伊勝浦駅→(宿)	150.0 1.7 11.4 171.0							和歌山県 那智勝浦町	ビジネスホテル勝浦	
38日目	5月9日	(木)	(前終点)→[補陀落山寺]→[那智の滝・飛瀧神社] →[熊野那智大社]→1番青岸渡寺(戻り)→バス亭 バス亭.....(バス).....紀伊勝浦駅 紀伊勝浦駅.....(鉄道).....名古屋駅	10.4 11.0 245.0	6:37	10:42	4:05	2.5	快晴	徒歩		愛知県名古屋市	ミュキステーションホテル 名古屋
39日目	5月10日	(金)	名古屋駅.....(鉄道).....長野駅 長野駅→善光寺→長野駅(完結)	246.0 5.9									
(後行程)	5月10日	(金)	長野駅から鉄道利用により帰宅	---					快晴		山形県山形市	[自宅]	
	5月11日	(土)	地元の菩提寺・神社、お隣さんに報告	---					快晴				

実施結果の総括評価

1日当り歩行最長距離	39.7 km
1日当り歩行最長時間	10:53 時間:分

① 札所間歩行距離(1番～33番)	1,070.5 km
② 歩行総距離(伊勢神宮関連等含む)	1,099.9 km
③ 渡船のみ距離	24.7 km
④ 直接参詣に係る鉄道移動距離	843.0 km
②③④ 総移動距離(徒歩+乗船+鉄道)	1,967.6 km

1日平均歩行距離(①対応)	30.2 km
1日平均歩行時間(①対応)	8:35 時間:分
全日平均歩行時速(①対応)	3.5 km/h

(注1) ①札所間歩行距離が、計画1,003km(水平距離)に対し、実歩行距離が1,070.5kmと伸びた理由は、上り下りのこう配を加味した沿面距離で整理したため。

(注2) 歩行時間には、各札所での読経・納経等の境内散策時間や休憩やコンビニ立ち寄りなどを含む。

(注3) 参詣基本ルート(古道ルート沿い)を大きく外れ、札所以外の立ち寄り個所への往復の距離は除外した。

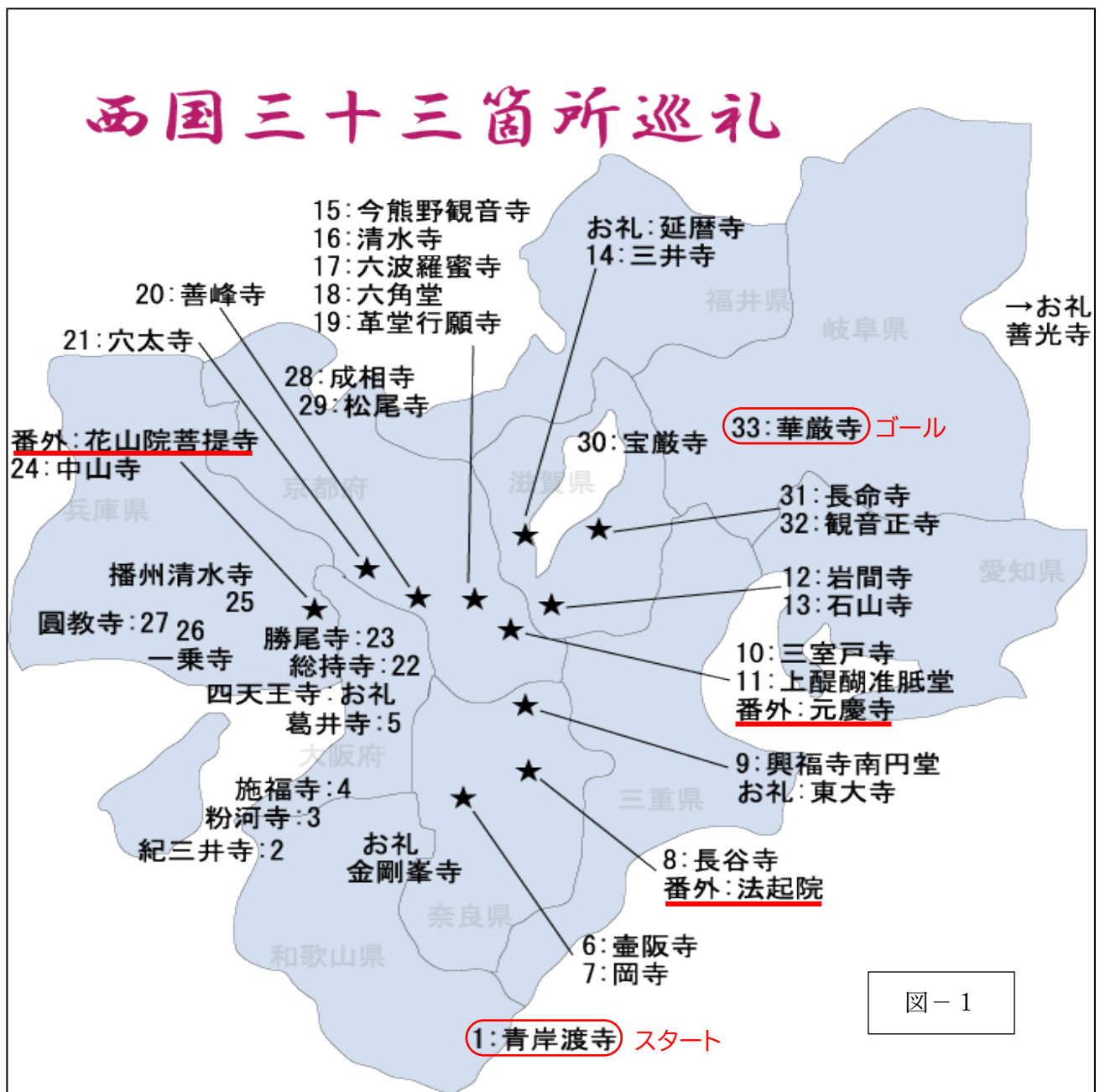
(注4) 順礼道(古道)ルート上は全道歩いた。同ルート上に歩かない空白区間は無い。

## 日本最古の巡礼道場『西国三十三所観音霊場』徒歩順礼の概要

標記同霊場は図-1のとおりです。同参詣道を正味2019（平成31）年4月2日（火）、補陀落山寺（ユネスコ世界遺産、和歌山県東牟婁郡那智勝浦町）から歩き始め、1番青岸渡寺（世界遺産）を参拝（札打ち）し、2019（令和元）年5月7日（火）33番華厳寺（岐阜県揖斐郡揖斐川町谷汲）に到達、満願の参拝を行い、35連泊36日間のスルーハイクを達成しました、ここまでの全道歩行距離は1,071km、1日平均歩行距離は30.2km、1日平均歩行時間は8時間35分、1日平均歩行時速3.5km/hとなりました。

この満願の達成を踏まえ、縁起の深い社寺に対する報告とお礼の参拝を行うこととし、電車移動により伊勢神宮の外宮で参拝、引き続き歩行により内宮に向かい参拝しました。さらにそこから電車と歩行移動により1番青岸渡寺に戻って（再び訪れ）参拝し、またまた電車移動により、善光寺（長野）に赴き参拝しました。ここに全ての日程を終え帰宅しました。

足を踏み入れた府県は次のとおりとなりました。





◆西国三十三所霊場関連は、近畿方面 2 府（京都府と大阪府）6 県（和歌山県・奈良県・兵庫県・滋賀県・福井県・岐阜県）のとおり。

◆さらに、三重県（伊勢神宮）と長野県（善光寺）の 2 県が加わった。

同霊場は、徳道（得道）上人によって開創されて、花山法皇が中興したと云われ、観音巡礼の原形、吾が国最古の巡礼道場と云われている。2018(平成 30)年から「西国三十三所草創 1300 年記念事業」が展開されていた。

.....  
寺をめぐることを一般的に巡礼と書くが、私の場合は、1 番から 33 番まで整数順に札所を繋ぐことから順礼と標記しています。  
.....

### 1. 歩行計画ルートの設定

同霊場（以下、三十三所の対象寺院を「札所」ともいう。）の個々の場所は当然分かっているが、問題はその札所を繋ぐルートです、現在の舗装された国道・県市町村道をまっしぐらではありません。少なくとも江戸時代までに参詣ルートとして歩かれた道筋、いわゆる参詣古道を歩きたいのです。

このルートについて、森沢義信さんが多くの歴史資料・文献に基づき、自ら現地踏査も踏まえて詳細に調査・検証し、冊子にしたもの（図-2）——西国三十三所道中案内地図（上下）」とそれを補完した「西国三十三所道中の今と昔（上下）」が販売されています。同案内図のまえがきに「・・・江戸時代の巡礼の『道中日記』や『西国案内図』、巡礼道・歴史街道に関する様々な文献をもとに、実際に歩いて確認・再現したものである・・・」と書かれています。巻末には膨大な数の根拠資料が列挙されています。内容はカラー版で国土地理院の地形図にルートが書き込まれています。単なる安っぽいイラスト風の観光マップではありません。国土地理院の地形図なのです、まさに大書です。この冊子のルートを参考に、パソコン上で「カシミール 3D」ソフトを起動、計画ルートを設定（確定）し、ガーミン社の GPS 機オレゴン 650 に電子ルートとして取り込み、常時携行し歩くこととしたのです。



図-2

### 2. 期間と出発日の設定

#### (1) 期間検討

事前検討で試算すると所要期間は 40 日間ほどになることから、どの時期に設定するのか。

本年は平成から新元号へ改元する節目の年であります。新元号発表日は 4 月 1 日に、改元は 5 月 1 日ということが 3 月頃から報道されるようになりました。また、ゴールデンウィークは過去にない最長の 10 連休という。歩き長旅は、気候が安定している 4 月から 5 月にかけての期間が最良です。こんな年で『西国三十三所観音霊場』順礼をこの期間に当てると、自ずから改元移行期間に身を投ずることになる

が、慌ただしくないのか、宿は確保出来るのか、連休最中の5月1日は家に居てテレビでも見ていた方が良くはないのか、などという不安・葛藤も過ります。それではスタート日は連休明けの5月7日以降にすれば良いではないか、などとあれこれ思案して見たが、一方、そんな問題があるような荒波の期間(4月から5月)に、同霊場参詣行動を取ってぶっ付けることも楽しいではないか、俺の肝っ玉テストフィールドにしてもいいのではないか、何かハプニングでも起きるのだろうか、などと、あれこれ想像を膨らませながらスタート日の設定検討に入ったのです。

## (2) 行動(移動)開始日検討

自宅から現地(1番青岸渡寺)向けの移動日を新元号発表日の4月1日(新年度は平成31年度の初日)に設定し、霊場参詣本番スタート日を翌4月2日と設定しました、その理由とは如何に。過去の四国へんろ3回(2015・H27年、2017・H29年、2018・H30年)のスタート日は、4月1日、4月3日、4月4日であった、また、歴史街道スルーハイク15件(2010・H22年から2018・H30年まで)のスタート日をみても4月2日はなかったのです。4月2日は数字の語呂合わせ“死に”に繋がり不吉であるから、縁起が悪いからわざと外したのだろう、と言われがちであるが、敢えて意識して外した訳ではありませんでした。勝手な憶測で臆病者・迷信者とレッテルを張られるのも不本意であります。そこで、今回は特に意識して“死に”の4月2日に合わせて、現地本番スタートを切ることにしました。

四国へんろ八十八札所42番仏木寺の納経の事務方と話した時に「“42”は、『死んで世に出る!』再生の御寺である」と話されたことを思い出しました。

本番スタート日が決まれば、自ずと前行程が決まります、移動前日の平成30年度末の3月31日(日)に地元の菩提寺「新福山石行寺・最上三十三観音第七番岩波観音」と村社「(宗)月山神社」とお隣さんの佐藤和夫・榮子さん宅(吾が地元四国写し霊場 第85番八栗寺比定)を訪れ、それぞれの祭壇に参拝しました。そして、翌日の平成31年度初日の4月1日(月)、この日は新元号の名称の政府発表日でもあります、早朝自宅を出立し、山形駅から新幹線などの鉄道利用により、紀伊半島先端南東部、紀伊勝浦駅で下車、明日の本番スタートに備え、補陀落山寺の近くのビジネスホテルに投宿したのです。

## 3. 十文字金剛(混合)聖水製造

### (1) 水へのアプローチ

2010(H22)年61歳から始めた歴史街道スルーハイク遊学紀行においては、遊び心として「①大香ブランド老魂サブタイトル」を設定することと「②何かの縁起物・呪物」を持参して来ましたが、今回の縁起物は『水』に拘りました。その連想・こじつけは次のとおりです。

a. 取組み中の歳は69歳であります。69”はスックス・ナイン、男と女との愛の一つの形が直感します。それは、違うもの相互の、両対極の消長活動を陰陽五行説が明らめており、同説の中でも、地球上の生物体に共通を有する雄と雌、人間界の男と女の世界、違うものの吸引・合体を説きます。

その時の秘儀の仲介的シンボルは『水(露・汁)』です、そのつゆは弱塩水(生理塩水)です。

b. 日々の生活の毒素水でむくんだ体を浄化する必要があるとの思いが充満しています。むく(69)みの数字を入れ替えると96となります。9=く、6=む、つまり、くむ=汲む、つまり、むくんだ体内液を汲み上げて捨て去り、逆に新しい対外水を汲み上げて浮腫身を浄化したいと念じています。

- c. 6を上下ひっくり返すと9になり、9をひっくり返すと6になります。元々、この69の中には自在に自然に入れ替わるとい<sup>こんりき</sup>う魂力が内包されています。
- d. 『水』の文字は、真ん中に1本の垂直線を入れると、形象的に左側のはねは左側から垂直線に向かい集まって・離れ、右側のはねは右側から垂直線に向かい集まって・離れます。ここに離合集散が表れます。離合集散故に一期一会の妙味を味わえます。

## (2) 水を背負う計画

スタート時は真水を持参・背負い、途中で潮水（海水）を混合し、精神の金剛化作用の願望を込めることとしました。

### a. 真水

吾が地元の次頁図-3 菩提寺石行寺の庭池に落ちる<sup>みたき</sup>御滝水（龍山川水）と吾が地元の図-4 村社「(宗) 月山神社」脇の旧別当志鎌忠雄さん宅内湧水——同社境内通過地下水の真水を50cc ボトル（直径2.5cm×高さ11cm）に汲んで自宅から背負うこととしました。



図-3



この小屋裏が  
月山神社

図-4

真水の湧き井戸

### b. 潮水(塩水)

加えて、太平洋は那智湾（補陀落渡海）の潮水、さらには参詣途中に日本海は宮津湾（天橋立）の潮水を汲み上げて混合することを計画しました。その構図は図-5aのとおりです。

男と女、真水と潮水(塩水)、いろいろな人との一期一会の交流（出会いは交錯）が想起され、それらの共通性をイメージ図化すれば<sup>十</sup>文字です。その“十文字”とくれば、「道分けの神・道ひらきの神・導きの神=猿田彦大神<sup>さるたひこおおかみ</sup>」の御神徳に繋がり、スタート時のこのような強い想念は、同神の来臨<sup>どうぎょう</sup>同行と見做したのであります。これらの水を十字対生化すると図-5bのようになります。この水は単なる混合水ではなく、猿田彦大神の御神徳が<sup>じゅうじたいせい</sup>溶け込み私の体内液水（生理弱塩水）と同化した金剛水として背負うことにしました。同じ真水でも仏（寺）と神（神社）の対比、同じ潮水・海水でも太平洋と日本海の対比関係を意図しています。

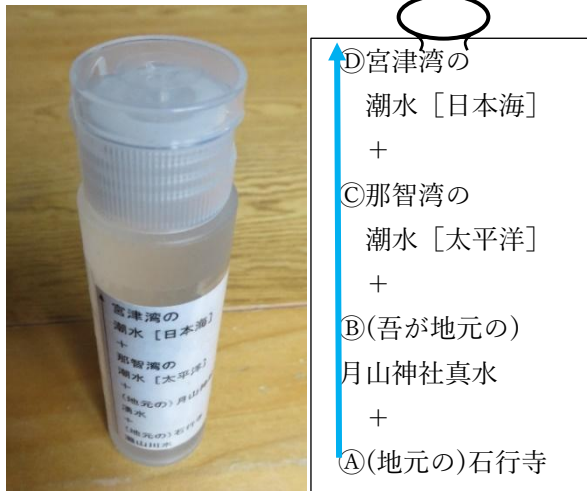


図-5 a

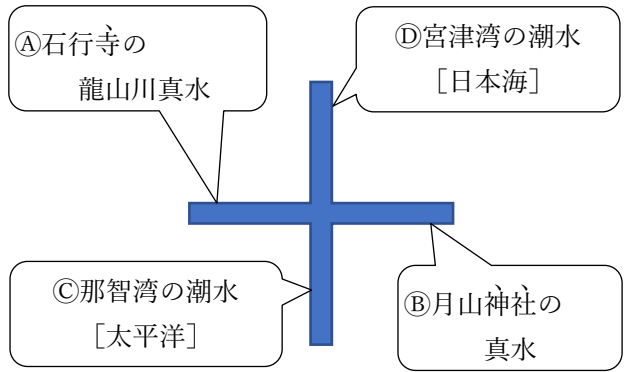


図-5 b

### (3) その実施結果

前記を踏まえ、次頁図-6a・6bの①・②は自宅出発前日の平成31年3月31日(日)に汲み上げ、③は本番スタート前日の平成31年4月1日(月)、1番青岸渡寺麓の太平洋那智湾で汲み上げて、④は参詣途中の27日目平成31年4月28日(日)に日本海宮津湾で汲み上げ、ここに当初計画のと通りの「十文字金剛(混合)聖水製造」を果たしました。

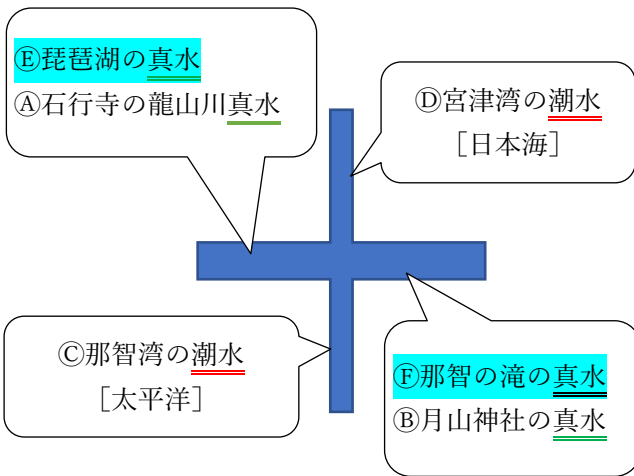


図-6 a



図-6 b

その1;さて、その——4月28日(日)の直後にあることが浮かびました。当初計画の①~④の実践はいずれも平成時代の行動であり、せっかくの改元の中、令和時代にも繋げる必要性を感じました。ただ、4月29日(月)以降33番華厳寺(満願)までの参詣中に潮水を汲み上げる機会はないことから真水を汲む機会を狙うこととしました。

その2;一つ目は、令和に入り、札所の参詣に係り水に接する最初の機会は、令和元年5月3日(金)の琵琶湖に浮かぶ竹生島内にある30番宝厳寺参拝の時であると見ました。ところが、現地に行ったら護

岸擁壁で汲み上げることは不可能でありました。そこで、長浜で船を降りてから田村駅近くの琵琶湖畔で真水⑤を汲み上げて混合しました。琵琶湖は真水（淡水）であります。図-6 aを眺めると、これだけでは、片手落ちの感があり、左右バランスが取れないと見ました。

左⑤④ 対 右⑥ では、左右2対1 これでは平衡していないと見たのです。

その3；次に、同年5月9日(木)、那智の滝そのものを祭神（神社）としている飛瀧神社の長命水（真水）⑥を汲み入れました。左⑤④ 対 右⑥⑥ となり、左右2対2 これでは平衡したと見たのです。元々上下は、④対③は1対1でバランスOKです。

ここに最終的には、④～⑥のように4か所の真水と2か所の潮水と計6か所の金剛（混合）水が完成したのであります、今は自宅の神棚に飾ってあります。

その4；Good luck！ この真水6か所の6は「西国三十三所観音霊場」の『3+3の6』に繋がりました。この潮水2か所の2は元号『平成』と『令和』の二つの意味が刷り込まれています。まさに平成と令和の連結にマッチした出来栄えとなりました。まことに、縁起の良いものになりました。

その5；私の書物上の師・安岡正篤氏まさひろによると『淡』とは、「・・・味がないということではない、甘いか苦いかの偏った偏味ではない、何とも言えない妙味、至味・神味・極味をいう。よって、人は死ぬ時“水をくれ”という・・・」とおっしゃられています、実際私の父が息を引き取る（亡くなる）直前、まさに“水をくれ”と言いました。対人関係は、砂糖水のような甘くドロドロでは、結局は破綻の元凶となります、私が経験しています。対人関係は淡泊に！ です。真の付き合いを求めて、あるいは絆きずなという固い付き合いを求めて心を許し合うことは一見美談に繋がります。しかし、そんなのは「狸とキツネのバカ試合」そのものです。それは相互依存に深入りすることに他なりません、もはや50対50ではなく、100対1、あるいは1対100のいびつな関係であります。

#### 4. 「補陀落山寺」を歩行のスタート起点とした理由

同寺（図-7上）は世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の登録寺院です。補陀洛渡海とは、平安時代から江戸時代にかけて、小さな船（図-7下）に閉じ籠り、30日分の脂あぶらと食糧を携えて、外から釘を



図-7



図-8

打ち付けて貰い、生きながらにして南海の彼方にあると信じられていた観音浄土を目指したというもの——一方では自殺行為、多方では他殺・殺人行為のようなもの・・・で、補陀洛山寺は補陀洛渡海の出発点として知られて来た寺——ご本尊は千手観音です。このことは、2011（H23）年、「旧熊野古道(+旧西高野街道)スルーハイク」——全道 849.0km を 4/6(水)～5/5(木)の 29 連泊 30 日間——の時に知りました。

実施結果トラックログ図-8 のとおり。私は、日常の生活を離れて、同西国霊場参詣に出立することは、この補陀落渡海のあるあり方に似たものを感じて、補陀落山寺を出発基点にしました。ビジネスホテルがある地区からは 1 番青岸渡寺行きのバスはあるが、利用しないことにしました。平成 31 年 4 月 2 日（火）早朝、近くのビジネスホテルを発ち、午前 6 時 35 分ここ同寺に到着し本寺に参拝した後、1 番青岸渡寺を目指して本番スタートを切ったのであります。ここから約 7km の古道（上り坂）を 2 時間かけて標高約 330m の同 1 番まで歩きました。

## 5. 奉納したお経（読経・読誦・誦経）

### （1）神・仏・キは平らかに

四国へんろ 3 回を行うなど、寺社の歴史には大いなる関心はあるが、宗教の〇〇団体とか、〇〇教とか、〇〇宗とか、個別のものには特別な関心はまったくなく、もちろん入会もしていません。何か特別な心の傾けを以って信仰している宗派はありません。

西国三十三所札所会などでは、開経偈、般若心経、本尊名号、光明真言、回向文は最低限、人によっては観音経も挙げよと推奨しています。しかし、私はそれらの規制には束縛されません。この順礼においては、西国三十三所札所のみならず他の寺院や神社も参拝しました。その時の読経は、敢えて強く意識して何処でも次の内容を奉納しました。思い付きではなく計画時から決めていました。

「①般若心経、②観音御和讃、③光明の真言、④亡父母の戒名、⑤神社神道の 祓 詞、⑥キリスト教の御言葉」を唱えました。自宅で読経しているものからピックアップしたものです。

お寺でなぜ⑤ 祓 詞、⑥キリスト教御言葉なのだ？ 神社でなぜ①般若心経や⑥キリスト教の御言葉なのだ？ と疑問を持たれると思います。

⑤ 祓 詞 を唱える所作は前後に神道方式“二礼二拍手一礼”（柏手を打ち）、⑥キリスト教御言葉を唱える所作は前後にカトリック方式“父（額）と子（胸）と聖霊（左肩）の御名によって（右肩）アーメン（指を組んで合掌）”と、顔と胸の処で十字を切る作法を以って対応しました。

本堂の中では自然体でそのような一連の流れで読経作法を行い参拝しました。御本尊様はびっくり仰天、とてもいぶかしく思っているのではないかと思いました。いや、そう思うのは人間でしょう。私の所作に気付いた人は、変り者がいるものだなあ、と 邪 まな目で見ていたと思います。

### （2）邪道という騒音

人によっては邪道（外道の邪見）だと語気を強める人は多数いるだろうが、私は意に介しません。おかしい、邪道だというのは宗教学の一面ではそうかもしれないが、宗教などという分野は、世の中の学問の極無限界中の本の一部に過ぎません。西行が伊勢神宮を参拝した時に謳った「なにごとのおはしますかは知らねども なたじけなさに涙こぼるる」と同じ心理で、私にとっては、神様も仏さまもキリスト様も同じ崇高なもの、平 けく 尊崇の対象です。宗教関係者が話されることを想像出来るが、もしも、

まじめに私の人格を否定する意味を以って邪道だというならば、“ 神・仏・キを拜むことは、所詮は偶像崇拜なのだ！ ”とやり返してやります。そもそも、他人の心に侵入し、他人の祈りの心に善悪の峻別を付けて裁こうとすること自体が問題外です、宗教者の名に値しません。憲法第二十条「信教の自由は、何人に対してもこれを保障する。」を取り上げるまでもなく、信教はその有り様・所作も含めて個人の絶対的自由裁量の範疇です。

宗教者に少し期待するとすれば、他人<sup>ひと</sup>に対して、生まれながらに備わっているといわれる仏性・善性の<sup>はぐく</sup>育み・錬磨を励ます観点を心底から持って、自らの<sup>ひど</sup>実行を重ねて後押しする実践態度です、演説口調・説教調の仏教書解説講義は聞きたくもありません。

寺院や神社を訪れて、人は、本堂の前に佇み合掌し何やらを祈願する、しかし、普段は秘仏と言って仏像を見せない、人は見えない処で拜む、秘仏と言いながら何年か毎に御開帳と称して見せる、寺は見せて金を取る、最も酷いものは見せないで金を取る、資本主義・金欲丸出しの金儲けの手段に仏教・仏像を利用しています、すなわち<sup>ひど</sup>仏像＝物体、仏教＝偶像押付が現実、それこそが、邪道です。こうなると私が言う偶像崇拜という言葉にケチは付けられません。仏道の何たるかを公言する資格ゼロです。

私の言う偶像崇拜とは、人工物の仏像や神鏡やキリスト像に向かって、合掌して何がしかの祈願をしたとしても、あるいは、わずかばかりの賽銭を入れたとしても、例え大金を積んでも、祈願のとおりは絶対に実現しません。つまり、絶対式「祈願≠現実・実現」の世界を言います。

こんな当然のことを理解出来ずに似非宗教者に騙されて人生を棒に振る馬鹿者は同情に値しません、自業自得の結果です、騙す方も騙される方も 50 対 50 の結末です。

## 6. 白衣への御朱印

着用した白衣とは別に御朱印専用のものを持参しました。これには、番外を含む西国三十三所他の神社からも、個人からのサインも貰うことにしました、神仏・天地人混淆の仕上げにたく、割り付けと意味付けを事前に計画し、ハプニングもあったが、思い通りに貰うことが出来ました。前面御朱印は図-9a、背面御朱印は図-9b、その活字化が図-10a・10b のとおりです。

なお、納経軸に頂戴した朱印については後記します。



図-9a/前面



図-9b/背面



(前面)

②

平成31年4月30日

福井県おおい町  
ホテルパスタイム  
平成三十一年四月三十日  
<宿泊先>

二十九番  
青葉山松尾寺  
平成三十一、四、三十  
<墨書入り>

二十九番  
御本尊の梵字  
青葉山松尾寺

<同じ札所である>

<宿泊先>

③

令和元年5月1日

福井県小浜市  
ビジネスホテル  
れんが亭  
令和元年五月一日  
<宿泊先>

若狭姫神社 (下社)  
令和元年五月一日  
<納経所は同じ札所(彦神社)である>

若狭彦神社 (上社)  
令和元年五月一日  
<納経所は同じ札所(彦神社)である>

<納経所は同じ札所(彦神社)である>

<宿泊先>

①

佐藤和夫・榮子

(出発前)

平成三十一年三月三十一日

(帰宅後)

令和元年五月十一日

滝山村(現上桜田) 弘法大師八十八ヶ所霊場

八十五番 八栗寺

④

【我が家の菩提寺 石行寺  
最上三十三観音 七番  
岩波観音】

須常念

石行寺

(出発前)  
平成三十一年三月三十一日

(帰宅後)  
令和元年五月十一日

須常念

石行寺

⑥

伊勢神宮  
外宮  
豊受大神

伊勢神宮  
内宮  
天照皇大神

⑤

【我が地元の村社】

(上桜田) 月山神社

宮司 瀧本光彦

(出発前)  
平成三十一年三月三十一日

(帰宅後)  
令和元年五月十一日

(上桜田) 月山神社

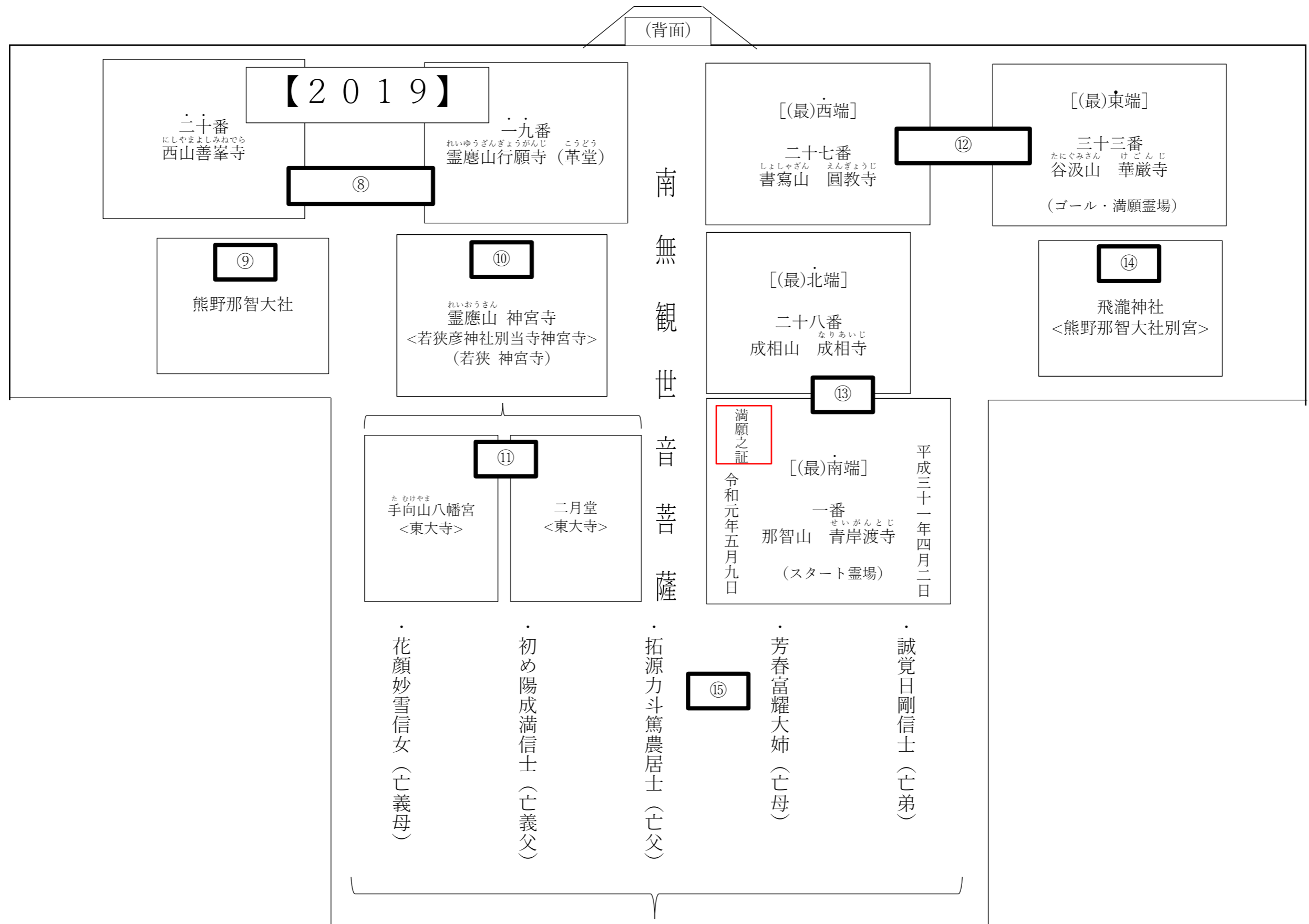
宮司 瀧本光彦

⑦

元伊勢籠神社  
元伊勢籠神社

元伊勢籠神社  
元伊勢籠神社

元伊勢籠神社



<亡くなった家族の法名・戒名／私が書いた文字>

図-10b

(1) それぞれの取得した内容・理由等について記述します。

以下の①～⑮は前記図-10a と図-10b に付定した①～⑮と一致させています。

①；吾が地元には、明治四十四年八月二十日に設定された四国霊場の写し霊場『堀田（村）・滝山（村）八十八ヶ所霊場』があります、その中で、お隣りの佐藤和夫さん宅が 85 番八栗寺に比定されており、弘法大師・お大師様を祀っています。過去 3 回の四国へんろにおいては、事前に、そして、結願・満願の事後に、佐藤さん宅にお邪魔し、出立の挨拶と帰宅の挨拶を行いました。その際、御朱印相当の署名捺印を頂戴していたことからその例に習い、平成 31 年 3 月 31 日(日)今回も同様の対応を行ったものです。

その時、佐藤さんとの懇談の中で、長生きの秘訣・原動力は？と伺った処、①会社員時代に大酒飲みをしたこと、②7 回ほど九死に一生の難関を潜り抜けて来たこと、③妻を愛して来たこと、とおっしゃられました。面白いユニークな捉え方を話されました。88 歳の米寿を迎えた今の生き方は、向上心が絶えずに沸き上がることから本を読むなど思索を深め、ご主人は車を安全運転し、数メートルの梯子にも上がり、庭木の剪定や柿もぎもします、夏場は畑仕事を毎日行い、四季折々の野菜を育てています。奥様は以前華道や茶道の師範をなされ、平成 12 年華道に尽力・貢献したとして「山形市民文化賞」を受賞しました、また、料理が大得意です、時々とても美味しい創作料理を頂きます。

お二人から目指すべき生き方の指針を学んでいます。「地域コミュニティの何とか長やどこかのペテン師議員」の話など取るに足らず、佐藤さんご夫婦の話はとても有意義であります。

②；節目の平成最後の日、29 日目の平成 31 年 4 月 30 日(火)に縁があった西国札所の 29 番松尾寺の御朱印と、その夜にお世話になった福井県大飯郡おおい町の宿「ホテルパスタイム」の女将さん（図-11/翌朝）から署名捺印を貰いました、とても嬉しく思っています、ありがとうございました。

その 1；29 番松尾寺からは 2 個所に頂いています、左側は印のみで、右側には墨書（揮毫）と日付を入れて貰いました。「29」は語呂合わせで“にんく<sup>ん(ん)く</sup>＝忍苦”に繋がります。そうです、平成の締め括りの日に、天は私に対して“忍苦”——文字どおり、ものごとの諸々の苦しみに耐え忍ぶ<sup>にんにく</sup>忍辱の精神を養えという贈り物があったのです。まさに、29 日目に当たったのです。



図-11

その 2；もう一つが、「29」は“肉眼<sup>29</sup>”——私の肉体に備わっているこの目（両眼）、望遠鏡・顕微鏡などの人工物・機器を用いない生来の透視力なる両面眼力を磨け、という天からの贈り物と重なります。

その 3；さらに、「29」は 2 つの<sup>くる</sup>苦<sub>(9)</sub>しみ、節目の大事な日に苦しめ苦しめというメッセージです、すなわち、天から“甘えるな！”との叱りを賜ったのです。

③；令和最初の日、30 日目の令和元年 5 月 1 日(水)には、西国三十三札所の参拝は、歩く日程（行程）上ありません。しかし、縁があった若狭国一之宮の若狭彦神社（上社）と若狭姫神社（下社）の御朱印と、その夜にお世話になった福井県小浜市の宿「ビジネスホテルれんが亭」の女将さん（図-12/翌朝）から署名・捺印を貰いました、とても嬉しく思っています、ありがとうございました。



図-12

令和最初の日が30日目になったが、三十三観音の共通数字<sup>3</sup>と、0はゼロ化のクリアー・リセット、新しいスタートという天からの示現・啓示でありました。

④；吾が地元の菩提寺である「石行寺」は、最上三十三観音 七番岩波観音と一体であることから必ず参拝し、今回は佐藤副住職と懇談し、平成31年3月31日(日)に御朱印を頂戴したものであります。なお、帰宅後は令和元年5月11日(土)に住職から頂戴しました。

⑤；吾が地元の村社「(宗) 月山神社」に参拝し、滝本宮司と懇談し、平成31年3月31日(日)に御朱印を頂戴したものであります。なお、帰宅後は令和元年5月11日(土)に同宮司から頂戴しました。

⑥；令和元年5月8日(水)伊勢神宮の外宮・内宮で入手した御朱印です。

⑦；平成31年4月28日(日)入手した丹後一之宮「元伊勢 籠神社」の御朱印です。今の伊勢神宮に祀られている豊受大神(外宮)と天照皇大神(内宮)は、元はこの籠神社に祀られていたと云われています。奥宮の眞名井神社も参拝しました。厳かで神秘・怪奇な雰囲気の内宮でした。

⑧；わが国固有の元号は変わるものの西暦は2019年で変わりません。そんなことから20番善峯寺と19番行願寺(革堂)から並べて御朱印を頂戴したものです。後者19番は平成31年4月17日(水)、前者20番はその翌日平成31年4月18日(木)に入手しました。足取り順に貰ったものです。

⑨；令和元年5月9日(木)頂戴した熊野那智大社の御朱印です。

⑩；平成31年4月30日(火)頂戴した〔若狭彦神社別当寺神宮寺〕若狭神宮寺の御朱印です。

⑪；平成31年4月14日(日)頂戴した東大寺の「二月堂と手向山八幡宮」の御朱印です。

⑫；地理的方角・位置関係の「東西」に対応する札所であります。

平成31年4月24日(水)頂戴した27番圓教寺は西端にあり、令和元年5月7日(火)頂戴した33番華嚴寺は東端にあります。

この華嚴寺においては、納経軸への朱印を確認した上で、いろいろな3組の朱印と『満願霊場』という朱印を押印して貰い、日付も入れて貰いました。なお、別途『満願之証』(13頁)を発行して貰いました。

⑬；地理的方角・位置関係の「南北」に対応する札所であります。

平成31年4月28日(日)頂戴した28番成相寺は北端にあり、平成31年4月2日(火)と令和元年5月9日(木)に頂戴した1番青岸渡寺は南端にあります。

この青岸渡寺においては、戻って再度参拝したが、朱印は少しずつ重ね押しして貰い、日付も頂きました。『満願之証』(書状)の発行はないが、『満願之証』の朱印はあるということで押しして貰いました。なお、四国八十八所霊場徒歩へんろでは、88番大窪寺は『結願証』(書状)、1番霊山寺では『満願之証』(書状)を発行することから、3回の四国へんろでは毎回それぞれ入手しています。

⑭；令和元年5月9日(木)頂戴した飛瀧神社(熊野那智大社別宮)の御朱印です。

⑮；私が自署した私と妻の家族に係る5人の亡き霊の法名です。

(2) 共通することを記述します。

✓1；なぜ、2個所の宿(②と③)から署名(サイン)を貰ったのか！

このように自宅を離れ、楽しく寺社参詣出来るのは、夜に休息の場を貰い就寝出来るからです、とりもなおさず、宿のお世話になることです。平成から令和への移行時の節目となった記念すべき夜は②「ホテルパスタタイム」であり、新元号令和初日の夜は③「ビジネスホテルれんが亭」だったのです。いずれも、女将さんでしたが、快く一言返事で快諾してくれました。お二人からはそれぞれの翌朝早いにも係らず見送って頂きました、ありがとうございました。

✓2；なぜ、伊勢神宮⑥と元伊勢⑦に拘ったのか！

今、伊勢に祀られている豊受大神と天照皇大神は、その昔、安在地を求めて移動した(諸説あり)というのです。豊受大神は元々はこの「籠神社」の祭神でダイレクトに今の外宮に移動し落ち着いたが、天照皇大神も元々はこの「籠神社」の祭神で、何か所か転移し今の内宮の地に落ち着いたというのです。そんなことから、「籠神社」は“元伊勢”と云われています。そうすると、満願後、伊勢神宮に報告のお礼参りを計画している私としては、「元伊勢籠神社」は伊勢と一体という訳でここから御朱印を頂戴したものです。なお、直接白衣に御朱印を貰うつもりでいたところ、大勢の参拝客予約の為に2時間待ちと言われて、やむを得ず、予め用紙に印刷された御朱印を入手した次第です。

伊勢神宮については、言わずと知れた神社神道界最高位階の神社です。豊受大神〔内宮天照皇大神のお食事みけつかみを司る御饌都神であり、衣食住、産業の守り神として崇敬〕を祀る外宮(豊受大神宮)を初めに参拝し、引き続き、約7kmの古道を歩行し、天照皇大神〔皇室(天皇)の先祖神として崇敬〕を祀る内宮(皇大神宮)に参拝し頂いた御朱印です。

直接白衣に御朱印を貰うつもりでいたところ、両方ともに「白衣には押せない、朱印帳にのみ押す」と言われました。とても不本意でしたが、やむを得ず、予め用紙に印刷していた御朱印を入手したことから、その経緯を後記します。

✓3；なぜ、若狭彦・若狭姫神社③、若狭神宮寺⑩、東大寺の二月堂たむげやま⑪と手向山八幡宮⑪なのか！

これらは、若狭の「お水送り」と奈良東大寺「お水取りしゅにえ(修二会；3/1~3/14)」という今に続く神仏一体の行事に係ることから、まずは概要を手短に整理しておきます。752(天平勝宝4)年——奈良の大仏開眼供養年——に創始し、1200年以上も続けて来た今に残る神仏習合色のとても濃い行事です。儀式の舞台の位置関係は図-13(赤色実線は携行したGPS軌跡)のとおりです。当該行事(神事・仏事)の起こりは、奈良市の東大寺二月堂の初めての修二会で神名帳を読んで全国の神を招いたが、若狭遠敷明神は漁で忙しかったために遅刻してしまっおにゅうた。そのお詫びとして、その場で、遠敷明神は二月堂の本尊である十一面観音にお供えのあか闕伽水こうずい(お香水)を送らせたと云う、そこから「送りと受け取り」の儀礼が加わった、慣例化したと云う訳です。

「お水送り」は、毎年3月2日に若狭神宮寺で行われます、その10日後、毎年3月12日に奈良東大寺二月堂でその「お水取り」が行われます。つまり、送った



図-13

『お香水』は約90kmの距離を10日間掛けて東大寺に届くということです。位置はほぼ南北の関係にあります。

※1 お水送りの若狭側に係る社寺は、総称する若狭彦神社——別称「遠敷明神」とも言われ、若狭彦神社（上社）と若狭姫神社（下社）からなっています。神仏分離前の江戸期までは、若狭彦神社は別当寺であった若狭神宮寺とは一体でありました。

※2 お水取りの奈良側に係る社寺は、東大寺の二月堂と手向山八幡宮です。神仏分離前の江戸期まではこれらは一体でありました。この八幡宮は、天平勝宝元年(749年)、東大寺大仏建立の際、東大寺の守護神として大分県宇佐市の宇佐神宮（宇佐八幡宮）より勧請された、同八幡宮からの分社では第一号であります。

以上のような神仏習合現代版シンボルの一つとして、御朱印を頂戴したものです。

✓4；なぜ、熊野那智大社⑨と飛瀧神社⑭は無理に挿入したようで窮屈な配置ではないのか！

二つともにユネスコの世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の構成資産に登録されています。御朱印については当初考えていなかったが、1番青岸渡寺に戻る途中で、飛瀧神社は瀧（瀑布）そのものを神とする特異な存在であることから立ち寄った処、神職がいて御朱印も押印すること、滝の水を引いた長命水（神聖水）があることに触れ、思い付きで急遽頂戴したものです。

引き続き、青岸渡寺に着いたが、江戸期までは神仏習合で一体化していた熊野那智大社にも参拝し、これも急遽頂戴したものです。

✓5；なぜ、東西⑫と南北⑬（東南西北）に拘ったのか！

今回被った菅笠（図-14）に関係します。過去3回目の四国へんろで被った菅笠を今回も被りました。笠には、仏教の宇宙観を表す次の文字、「四句の偈文」、「梵字のゆ」、お大師様を指している



図-14

「同行二人」が書かれています。その偈文は、

「迷故三界城、悟故十方空、本来無東西、何処南北」

読み方は、「迷うが故に三界（欲界、色界、無色界）は城なり、悟るが故に十方は空なり、本来東も西もなく、いずこにか南北あらん」であります。

「色不異空・空不異色・色即是空・空即是色」に通じ、端的に言えば「こだわるな、とらわれるな、しがみつくな、執着するな、自由になれ」という教え・訓えが読み取れます。

ある知人宅に立ち寄って懇談した時のことです、その奥様から「極無限」という言葉がありました。まさに、その偈文がぱっと浮かびました、偈文の意図を説明する時の一番端的な言葉です。

もう一つ、この「偈文」で浮かんできたのが、「西国三十三所観音霊場順（巡）礼」の「大香ブランド老魂サブタイトル」を「西国へんろハート作図-両眼（両面眼力）培養大作戦とした理由・背景について」の処で記述した人間の目（両眼）の仕組みに関してです。実物像を、かつ上下左右を入れ替えたり、クロスさせたり真逆の動きをさせてこそその正常な造影とする認識ですが、否定の否定は肯定です、そこで再現した認識は、形は同じであって、裏側まで中身を透視する融通無碍の力・眼力を養ったものでなければなりません。

あれやこれや、私は地球上 77 億人分の 1 の一人です、たかが知れています、自重自戒を！！

✓6；なぜ、亡き家族の法名⑮なのか！

私と妻の双方の両親は昭和初期の生まれです、貧乏は苦労の中で生計を立てつつも、霊場巡りとはまったく縁がなかったことから「親孝行したい時には親はなし」の償いで、あの世から連れ出し同行したということです。

## 7. 表装（完成）した納経軸の御朱印

この度の西国へんろを終えて、表装（完成）した納経軸等は後記図-15のとおりです。自宅の玄関に入って直ぐ左側の小さな和室に垂れ下がっています。

本軸において、購入時点では、西国霊場指定の番外三か寺分、猿田彦神社、善光寺の処、計 5 か所分は空白となっております。御朱印で埋めるか否か、埋める場合どこの寺社にするのか、その順序を含めて所有者の自由判断に依ります。西国三十三巡礼――法起寺・元慶寺・花山院の番外 3 か寺含む――を終えて、2 か所分（猿田彦神社・善光寺）の空白部が残っています。さて、その空白を埋めたいが 2 か所をどこにするか、どこに嵌めるか、前記白衣への御朱印と合わせてちょっと思案しました。猿田彦神社・善光寺と計画したのですが、どれをどの部分に配置するのか……。陰陽道に由来する鬼門・裏鬼門封じが思い付きました。1 番那智山青岸渡寺は鬼門――北東方角の隅（艮＝うしとら：丑と寅の間）封じと見做し、すれば、南西の隅は裏鬼門（未申）<sup>ひっじさる</sup>となること。また、鬼門配置の 1 番は寺院であることに鑑みて、裏鬼門には対しては寺院に対極する神社が良かろうと考え、本軸の左下隅に猿田彦神社から御朱印を貰ったのです。結果して本軸のとおりに仕上げました。

この軸の表装について何処に依頼するのか思案のあげく、まずは地元の山形市内 2 店に当りました。造り込みと材質と値段との対応関係について明瞭な資料を以って提示する店はありませんでした、客の足元を見て商売する態度を感じました、とても信用出来る・納得出来るような説明がありませんでした。そこで、この軸を購入した「いっぽ一歩堂（兵庫県宝塚市）」店に依頼しました。出来栄えはとても満足しています。

なお、和室の中は、神仏祭壇の上部に神棚を、その下部に仏壇を上下に並べています。向かって、右側（北側）の壁には本軸を垂れています、したがって発せられる神威仏光は南側を向いています。また、向かって左側（南側）には 3 回目四国八十八ヶ所霊場の掛け軸を垂れています、したがって発せられる神威仏光は北側を向いています。よって、これら両軸は向かい合っております。

西国だけの菊紋

本軸において、購入時点では、西国霊場指定の番外三か寺分、猿田彦神社、善光寺の処は空白となっており、御朱印で埋めるか否か、埋める場合どこの寺社にするのか、その順序を含めて所有者の自由判断に依ります。私の結果は右本軸のとおりです。



四番

八番

十二番

十六番

十八番

二十番

二十二番

二十四番

二十六番

二十八番

三十番

善光寺

猿田彦神社

一番

五番

九番

十三番

十七番

十九番

二十一番

二十三番

二十五番

二十七番

二十九番

三十一番

花山院

(番外)

元慶寺

法起寺

三十三番

図-15



## 8. 納経軸における番外空欄への御朱印

購入した西国専用掛軸には、当然ですが、1番から33番までの枠があります。その最下段には自由枠（フリースペース）が五つあります。西国三十三所霊場には冒頭部の図-1のように元々三つの番外札所が指定されています。そこでまずは優先的に番外札所に着目し、結果して図-16の①→②→③の順で参拝し、御朱印を頂戴しました。残り2個所（④⑤の所）は空いています。その2個所は、当初計画では伊勢神宮の外宮と内宮から貰おうと考えていました。ところが、予想も出来ないことが、・・・貰えないこととなったのです・・・後記します。

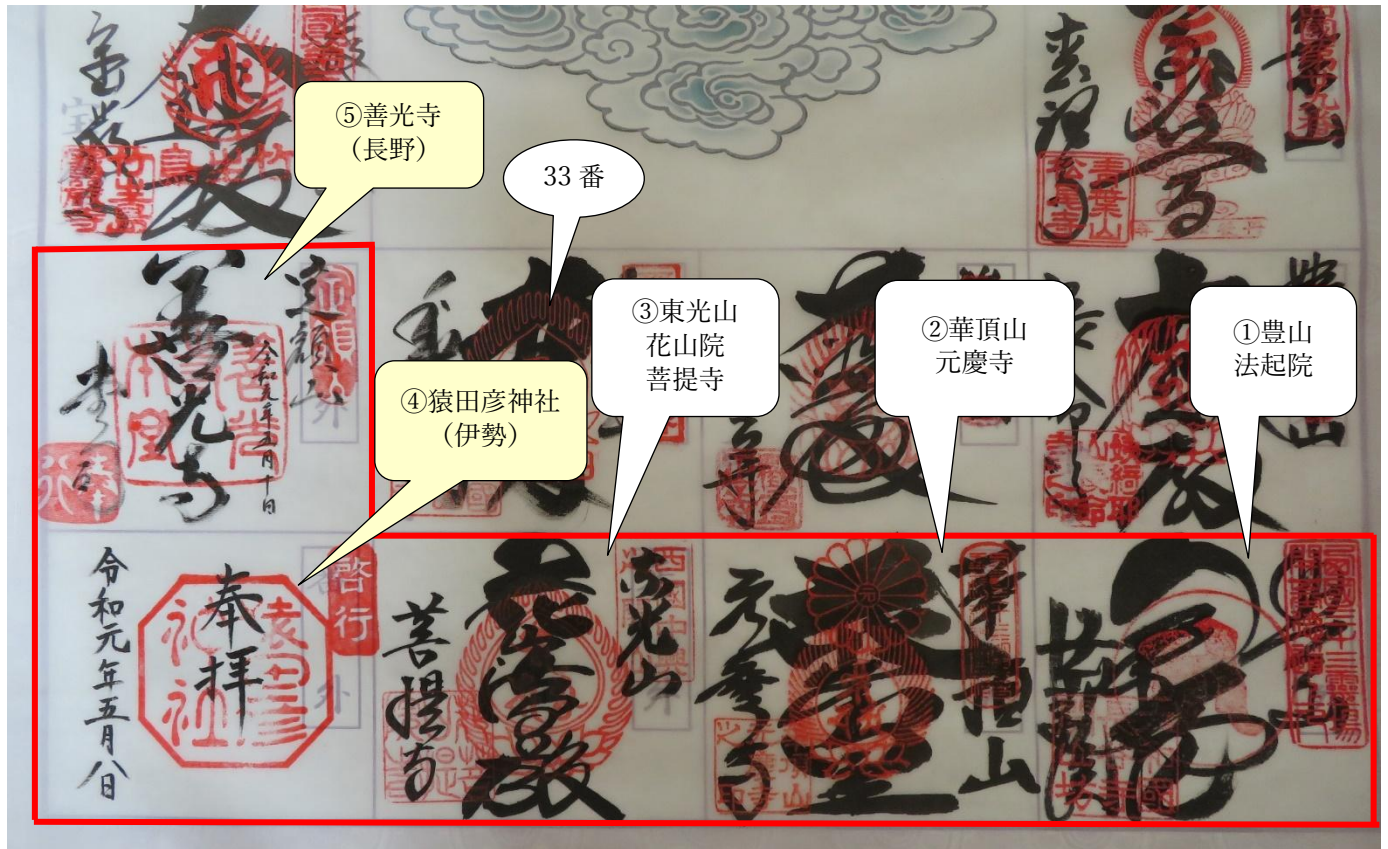


図-16

以下に係る全体の位置関係は図-17（実線は携行GPS軌跡）のとおりです。結果して、

✓④は、道ひらきの神「猿田彦大神」を祀る伊勢の猿田彦神社からです。過去この10年間の歴史街道スルーハイクと四国へんろ3回においても安全な旅となるよう「導きの神=猿田彦大神」への崇敬意識が常に念頭にあり意識していました。結果して、伊勢神宮内宮から1.3km手前の猿田彦神社から御朱印を頂戴しました。

✓⑤は（長野）善光寺からです。西国巡礼者は満願するとお礼参りに行く慣習が古くから根付いて来たこと、また、「一に伊勢、二に高野山、三に善光



図-17

寺」と云われて来た悠久の慣習に倣<sup>なら</sup>って、満願報告とお礼参りをしたく訪れ、御朱印を頂戴しました。なお、二つ(④⑤)とも、西国霊場寺院では普通は入れない日付を記述して貰いました。

## 9. 結果日数の意義・評価

### (1) 満願日数

本霊場順礼の満願までの日数は、現地“35連泊36日間”となりました。これを例の語呂合わせで解くと次のようになります。

その1; 『西国』は『さいごく』と読みます。『35』は“さんじゅうご”と読みます。共通の語は「さ<sup>3</sup>ご」、結果して泊まった日数は『西国』の霊威の顕現化だった、繋がったのです。

西国	さ	い				ご	く
35	さ	ん	じ	ゅう	ご	---	

『33所』の前後の数字3と3を加算する、合成すると6になります。3と6で36日間になります。結果して満願所要日数36日間は『33所』の霊威の顕現化だった、繋がったのです。“35連泊36日間”は、歩くペースを調整して意図的に強引に合わせたものではありません。日々の積み上げの結果です。全行程集計表にあるとおり、1日当りの歩行結果は30.2km、8時間35分、3.5km/hで過去の四国へんろや歴史街道スルーハイクとほぼ同等です。ところで「さご」は漢字で見ると「差誤」(やり間違えること、言い間違え、うそ)です、私の思いを否定する言葉です、己惚れるな!という猿田彦大神からの警告です。そうです、万象「陰中陽有り、陽中陰有り」の世です。これでいいのです。

その2; 33番華嚴寺満願の日は、令和元年5月7日(火)です、 $5 \times 7 = 35$ です、 $(5+7) \times 3 = 36$ です。これまた、到着日も縁起の良い日となりました。前記その1に繋がりました、目出度し・めでたし!

その3; 令和に入り丁度1週間(7日)目に満願しました、諸説はあるにせよ、キリスト教圏では、創造主が世界を6日間で創り上げ7日目に休暇を取ったということから一つの期間(週)単位になったが、読経の中にキリスト教「御言葉」を<sup>み</sup>読誦<sup>どくじゆ</sup>して来たことの縁に依るものでしょう。

### (2) 全日数

自宅を離れた4月1日(月)以降、帰宅当日までの全日程は、39連泊40日間となりました。また、語呂合わせでやります。『39』はそのまま“さんきゅう、SANKYU=thank you・ありがとう!”そして、『4を0化! =死を否定』=生き還りです、4月1日は、4月2日(死)に向かう前日、前奏(移動日)、4月2日からはいよいよあの世(非日常)に飛び込み、僅かばかりの辛苦と楽しみの別世界に突入(スリッブ)したのです。結果、40日目に無事この世に還り、また、日常の平穏と諸々のしがらみとの闘いが始まったのです。40日目は4月0日、すなわち元に戻ったということです。

## 10. 中興の祖の花山院に係ること

同西国霊場は徳道上人<sup>とくどうじょうにん</sup>が創設し、今に応じる巡礼のかたち<sup>に</sup>に復興したのが花山法皇(花山院)――

平安時代中期の第 65 代天皇、17 歳で即位、2 年足らずの在位、19 歳で退位し元慶寺で出家、藤原兼家の謀略によると伝わる——と云われます。ゆかりの番外別格札所が二つあり、元慶寺（同法皇出家の寺）と花山院菩提寺（同法皇崩御の寺）です。亡くなるまでの 5 年間ほど仏道に励み、再興に尽力されたが、とても感心することがあります。その自所番外 2 か寺を本札所にしなかったことです。例えば、三十三か寺の本札所が決まっていたとしても、自分の時代で権力を振るい、どこか他を外して自寺を本札所に変更するようなことだって出来たはずです。番外 2 か寺のうち 1 か寺でも出来たはずです。

昔から寺院仏教界では、改宗、あるいは御本尊を変えることなどはままあったのです。しかし、そんな私利私欲丸出しはしなかったのです、さすが法皇、立派です。元慶寺は町場にある小さな寺院でしたが、花山院菩提寺は高い場所にある立派な寺院でした。

私利私欲権化のペテン師議員諸侯（自治体議員から国会議員まで）や地域コミュニティ一部の「ムレ・グル・衆＝タマリ」の何とか長がその地位にしがみ付き細やかな権力を大手に振り回す醜い人達とは大違いです。

## 11. 色んなこと

### （1）境内

でかい山門、広い境内、重厚な本堂など、四国 108（本札所 88＋別格 20）霊場（寺院）と比較しスケールが大きかったです。

「懸造り」——急峻な崖や山の斜面にへばりつくように建てた寺院建築をいう——の札所が多くありました。8 番長谷寺（奈良県）、13 番石山寺（滋賀県）、16 番清水寺（京都府）、26 番一乗寺（兵庫県）、27 番圓教寺（兵庫県）、30 番宝厳寺（滋賀県）等です。図-18 は清水寺です。寺の付近・周辺には急坂の古道が残っている所が多く、駐車場から本堂（観音堂）までは 500m 以上歩かなければならない所が殆どであり、生半可な気持ちでは入れない、足腰の弱い人は不可、そのような霊場でした、こうでなければダメです、苦労や難儀を超えた参拝こそその有難味を実感出来ます。



図-18

### （2）道

西国巡礼道という専用の道があった（ある）訳ではありません。昔からの生活、物流交易、寺社参詣、参勤交代などで人・物が行き来した道を繋いでいます、地域の歴史の舞台を繋いだいわゆる歴史街道・歴史古道であります。本書冒頭に記載した森沢義信さんが整理した冊子「西国三十三所道中案内地図」はそのことを物語っています。4 月 2 日(火)の補陀落山寺スタートから、4 月 8 日(月)までは熊野古道（中辺路、紀伊路）でした、海拔ゼロ m から最大標高 884m まで登りました。何か所もの急坂の峠越えがありました。他に主要な古道として旧大和街道、旧東高野街道、旧竹内街道、旧初瀬街道、旧山の辺の道、旧東海道、旧鯖街道、旧中山道を繋ぎました。

1 日目の 4 月 2 日(火)から 4 日目の 4 月 5 日(金)までは、熊野古道の核心部「中辺路」を歩きました、道そのものが世界遺産です、古い石畳に路傍の石仏や王子という神社が佇んでおり、魅力満載です、だから多くのハイカーが世界各地から訪れます、この間 110 人位の人達と行き違いがあったが、日本人と見たのは 4・5 人でした。この 3 日間で赤城越（世界遺産追加登録）など現地は崖崩れや倒木に

より通行止めと表示している所が4箇所ほどありましたが、全てを強行突破しました。図-19aは一例であるが、手前から見た瞬間は通れません、しかし、潜るように歩行通過しました。



図-19a



図-19b

ただし、大雨や増水時は無理でしょう。そのような場所は林道（車道）への迂回ルート案内していたが、本来の古道距離よりは長くなります。

一方、熊野古道以外の、特に西国ルートにおいても、図-19bのような所が数多くありましたが、通行止めはありませんでした。共通して、川に架設していた橋の流出箇所も数箇所ありました。いずれの所も、自己責任で強行突破したが、格別の危険はなく難なく通過出来ました。これらの爪痕は、平成30年台風21号——9月4日頃西日本通過、死者9人——の影響です、ルート上のみならず山肌には大規模な倒木と崖崩れが近畿一円・広範囲に散見しました。私が歩いた世界遺産登録の熊野古道には通行止め4箇所あったが、疑問があります。世界遺産登録箇所については、国からは整備の一部として税金の助成があるでしょうから、私から言わせると、同遺産登録箇所の通行止めは不作為の怠慢です、図-19abのように、人が身をかがめてでも通れば良い訳で、枝払い等小さな労力（費用）で済むはずですが、関係者（役人根性）のやらない理由を一杯並べ立てているのでしょうか、だったら、世界遺産登録から外していませんか？ 外してはいないでしょう！

しかし、西国古道ルートにおいては通行止めはまったくなく、倒木箇所は人が通れるように枝払いの手を加えていました。それは、「NPO法人西国古道ウォーキングサポート」の尽力ではないのかと思っています。現地の所々に図-20のとおり案内表示がありました。ただし、同表示は少ないので、広い道路の交差点においては、右側通行か左側通行かで見失うこと



図-20

度々でした。しかし、私は計画ルートを入れた GPS 機を携行しているので何の問題もありませんでしたが。いずれにしても、倒木や崖崩れがあったとしても、巨大なものでない限り、ちっぽけな人間 1 人の身を以って通過出来ない所はありません、有り得ません。

### (3) 元気をくれる野草のスカンポ (スイバ)

図-21 写真のこれ——生の根を擦りおろし水虫・たむしに塗布するのも良いといわれる——は、幼少の頃は大好きで沢山食べました。丁度食べごろのものが生育していたことから、1 回での多用はしませんが、時々食べてリフレッシュしました。これには渋みと酸味があります、1 日 8 時間以上歩くが、途中でこの酸味がとても利きます、繊維質なので便通にもとても有効です。



図-21

### (4) 親子のリレー

36 日目令和元年 5 月 7 日(火)33 番華厳寺で満願の御朱印を貰い、納経軸を乾かしていたら、ある中年の御夫婦も隣で乾かし始めました。全て埋まって、私と同様の満願成就の記念すべき日でした。「満願ですね、おめでとうございます！」と声を掛けたら、「母が西国巡礼を行っていたが、動けない体になってしまい、半端になっていたことから引き継いで廻って来たのです、お陰様で今日の日を以って満願達成です。母に報告出来ます！」と満面の笑みを浮かべました。私は再度「満願、おめでとうございます！ 良かったですね。」と返しました。親子納経リレーにお目にかかったのは、3 回の四国へんろを含めて初めてでありました。他人事ですが、とてもうれしくなりました。

### (5) 桜が満開

西国順礼道に臨んだ 4 月から 5 月は、桜が満開でした。どこに行っても今年は長持ちしているとの話でした。桜満開・青空の天下泰平の世、1 人の歩き旅は格別でした。図-22 は、熊野本宮旧社地 おおゆのほら 大齋原の大鳥居——日本一の大きさ、高さ約 34m・幅約 42m——とソメイヨシノです。桜の季節になると、次の もとおりのりなが 本居宣長 (江戸時代の国学者) の和歌が浮かびます。「敷島の大和心を人間はば 朝日に匂ふ山桜花」



図-22

難しい植物学は別として、雌雄同株の桜は、葉が生育する前に先に花が咲きます、光合成で十分にからだ全体にエネルギーを回す前に花が咲きます。花が散る頃に葉が生えます。開花は、前年夏以降の花芽の「休眠」⇒「休眠打破」⇒「生成」を経て「開花」に至ります、特に秋から冬に掛けての気温と春先の気温に、大きく関係します、一定期間、低温に晒されることが重要なポイントです。低冷温に耐えてこそ花が咲く、寒い時にこそ咲くエネルギーを蓄える、咲いても低温ほど長く咲き続ける、満開を過ぎ気温が上がるほど短く、そして、惜しげもなく散ります。人生に重ねると目指すべき——艱難辛苦に耐える生き方、潔い身の処し方に通じます。本居宣長はこれらの人間模様を重ねて詠じたのだらうと思います。

### (6) 「猿田彦大神」から叱られたこと

札所間で一番長い距離は図-23aの1番青岸渡寺と2番紀三井寺間が(前者)約163km以上、次は図-23bの27番圓教寺から28番成相寺間で(後者)約124km以上です。前者は、熊野古道中辺路高山帯の急坂があり、1番からは4日間ほど掛かるこの間に鉄道はありませんが、田辺市から北上は紀勢本線が平行します。他方、後者のルートはしばらくは播但線が平行します。

納経(参拝・札打ち、あるいは御朱印を貰うこと)がないのに、宿を繋いでただ歩くだけです、宿代などは無駄な支出と映って来ます、するとついつい鉄道やバスを利用し日数を短縮したいという誘惑にかられます。



もしも、鉄道やバスを利用したら、所期の決意である『歩き通す』ことを破ったこととなります。元々は自ら決めたことだから臨機応変に対応すればよく、歩き通さなかったとしても何か罰が下ることでもない、と思うが、そのような惰弱で邪<sup>よこし</sup>まな感情がざわつくと、「猿田彦大神」が表出し、“札打ち(指定寺院に立ち寄ること)がなくても無駄ではない、ただ歩くことに最大の意義がある、初志貫徹、歩き通せ!”ときつくと叱るのです。よって、結果は全ルートを歩き通しました。

## (7) 白衣や納経軸への朱印是非

### a. 各神社とのやりとり

#### (a) 伊勢神宮

この発端は、37日目令和元年5月8日(水)伊勢神宮外宮から始まります。納経所の窓口で、朱印専用の白衣を出したら「白衣や納経軸には朱印は押さない、納経帳のみに押す」と言われたのです。これはまったくの予想外でした。『お寺の巡礼姿だからなのですか、神仏混交の状況になるのを嫌うのですか?』と尋ねた、問い詰めたところ「朱印は納経帳にのみ押印するもの、だからその他のものに押印は出来ない。」と言い張るので『納得出来ない、何とか出来ないですか、なぜですか?』と食い下がった処、隣の担当が出て来て「そのように決めているだけ、だめ!」と言うことで、こちらが諦めてしま

ました。なお、既に1枚の用紙に墨書・押印し日付入りの御朱印が用意されていたのでそれを入手(300円)しました。おそらく内宮もだめだろうと直感しました。

そして、内宮の手前にある図-24のとおり猿田彦神社に立ち寄り参拝しました。昼前でしたが、若い納経担当がいて、外宮と同じようなことを言うのです、加えて「白衣・納経軸の物を見ないと押印可能か判断出来ない。」と話されたので「これはダメ!」と思い、ここは直ぐさまに立ち去りました。



図-24

次に内宮に行き参拝し、納経所に立ち寄ったら外宮とまったく同じ言い振りでした、しかし、こちらは言い張らずに、外宮同様に、既に1枚の用紙に墨書・押印し日付入りの御朱印を用意されていたのでそれを入手(300円)しました。

#### (b) 猿田彦神社

同日令和元年5月8日(水)、上記内宮参拝後に、再度前記猿田彦神社に立ち寄りました、納経は別の担当者でした。納経軸を出したら何の条件・抵抗もなく御朱印を押印してくれました。普通、軸の朱印には入れない日付ですが、お願いしたら一言返事“OK”で入れてくれました。その方は山形のサンクランボや蔵王や山寺・出羽三山のことをよく知っていました。個人の対応で異なるのです。

そうです、世の中で一番のいかさま族である議員諸侯(県市町村議員から国会議員まで)に投票する時、知る由もない個人の資質を以って選別するのか、党派を選択するのか悩ましいのです。

#### (c) 飛瀧神社

38日目令和元年5月9日(木)熊野那智大社別宮の飛瀧神社に立ち寄ったら神職がおり、御朱印を押印

すると言うので、最後に白衣を出したら「お寺回りのおいづるには押さない。・・・」“また、来たな!”と思いつつ、他の神社の実押印事例(月山神社・手向山八幡宮・若狭彦神社・若狭姫神社)を示し、印だけを貰いました。

#### (d) 熊野那智大社

令和元年5月9日(木)前記飛瀧神社に続き熊野那智大社に立ち寄りました、同様に「白衣・おいづるには押さない。」と言うので、上記飛瀧神社同様に他の神社の実押印事例を示し、印だけを貰いました。

### b. 押印・墨書しない理由

なぜ、一部の神社(神職)が白衣・おいづるや納経軸への御朱印(押印・墨書・揮毫)を拒否するのか? 嫌うのか? 先方から客観的な納得出来る理由を聞けなかったが、私は次のように考えています。明治以降の神仏分離の姿勢です、神社の建前が邪魔しているものと思います。担当自身はあまり意識していないかもしれないが、現在は日本の神社の殆どは「神社神道」宗派の神社本庁に属(登録)しているが故に、今時において神仏混交の状況を作ることはアウト、忌避しているということでしょう。神道の根源を「清明正直」とした随神の道は、その根底に『ケガレ』思想があります、禊ぎ、払い、淨

めの所作が儀式を形作る訳です。ケガレ観念の根底に死体に係る見方があるような気がします。したがって、死体⇒葬式・葬儀⇒寺院 から 寺院⇒葬儀・葬式⇒死体 という連想が神職（神社）の無意識層に沈殿しているからではないかと思っています。一方、自分達の神式葬儀は、禊ぎ、払い、浄めの儀式を厳格に齋行して対応するから問題ないという独善持論ではないかと見ています、よって随神の道の曲解でしょう。 冊子「中世の神と仏」（山川出版社）の中に、一時期、「・・・神宮においては、仏教に関する言葉は忌諱（嫌って避けること）され、寺を瓦葺、僧を髪長（かみなが）というなどの忌み詞（ことば）が用いられた。」とあるとおりの歴史があります。知識旺盛な神職ほどこれらの歴史を引き摺っている可能性大です。 報告とお礼参りに臨んだ1番青岸渡寺の納経担当に、それらの私の見解を語ったら「そうではなく、西国巡礼者のおいづる（白衣）に押印することは、歴史が深く格式高い仏道に割って入れるようなもので、畏れ多いことである、という考えからではないか」とおっしゃられたのです。

一瞬「そうか、そうだ、なるほど!」と思った、のです。しかしです、『神社本庁配下の神社の神職が、自負と自尊を捨てて、寺院を持ち上げるだろうか?』と思いました。私はどうしても神職のケガレ思想があるのではないかと思っています。それにしても、四国へんろにおいては一之宮と称する有名神社4社やその他神社からも白衣に寺と混在して朱印を貰いましたが、一言も難癖を付ける似非神職はいませんでした。 いやいや、そんな難しい、ややこしいものではなく、単に“めんどくさい”からではないかとも感じます。墨書揮毫は普段慣れている紙の納経帳とは違い、おいづる（白衣）は大きいので、手元で広げなければならないこと、布に書くとなると面に波があり、動きやすいこと、などから書き難いのです。手間・暇がかかるのです、要は単に書き難いから断っているのだろうという見方が、的を得た本音ではないだろうか。

## (8) キリスト教に関心のこと

その1;「日本二十六聖人“長崎への道”（京都から長崎）」の歩き旅（スルーハイク）———正味 2018

（平成30）年10月7日（日）～11月2日（金）26連泊27日間（総距離941km、歩行距離910km）———を行いました。その時に、京都の「京都四条病院」の壁面に設置されていたという「SUS OBRAS HABLAN（スペイン語で、彼らの功績を語る）」という銘板（図-25）の現存有無を確認出来ず心残りになっていたことから、今回16日目4月17日（水）まずは、京都カトリック河原町教会に立ち寄り、その場所を聞き取って、改めて現地確認探査を行いました。結局は、同医院は移転し、跡地はマンションの建設工事中であり、同銘板の行先を確認出来ませんでした。残念ですが、やむを得ません。

その2;18日目の4月19日（金）大阪府茨木市立キリシタン遺物資料館———キリシタン大名として有名な高山右近の領地であった地域のキリスト教信仰の歴史物展示———に立ち寄りました。

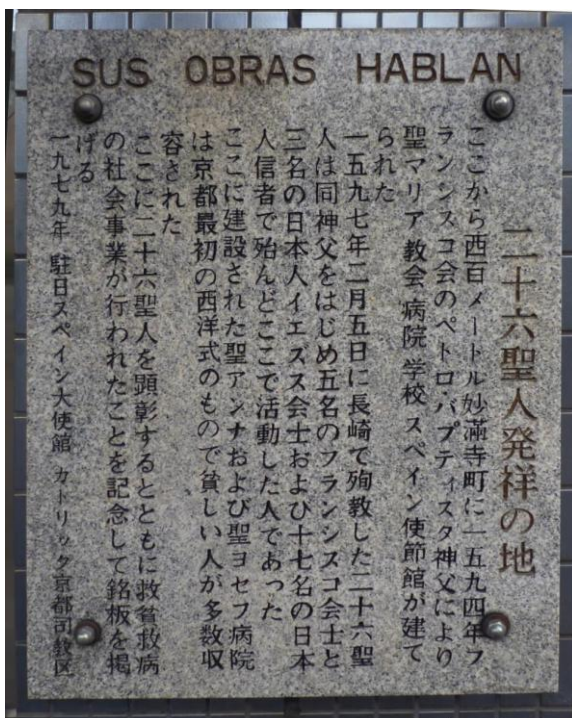


図-25



## (9) 宿の対応

これまで、2010(平成22)年61歳から今時までの9年半間に、歴史街道スルーハイクと四国へんろと今回の西国順礼を含め430軒余り(山登りや旅行を含めると500軒余り)の宿にお世話になって来ました。ホテル・ビジネスホテルは受付の方との事務的なやりとりで終わってしまうことが多いが、家族経営・個人経営の民宿や旅館やゲストハウスでは、ご主人・女将さんやマスターとの会話がとても広がります。公私の話題で盛り上がります。どこも忘れ難いが、今回特に印象に残ったことを記述してみます。

### a. うれしかったこと3題／心が満天3家族のこと。

その1;ある農家民宿(図-26)です。4日目の4月5日(金)お世話になった「未来農園」でのことです。ご主人は大学卒業後ある金融機関に勤務、父親が亡くなったので農家を継ぐ、釣り船も所有。市議会議員5期、中二で覚えたというギター弾き語り、ビートルズの曲を中心に3曲とピアノ弾き語り2曲を披露して貰いました。私は鼻歌で合わせました。農泊テレビ取材7回(?)ほどを受けた、とのこと。とても、幅広い見識と穏やかな口調、歌舞音曲を自在に操る人、マルチ人間、とても楽しかった、誠の真心に触れた思いがしました。1時間30分ほどのとても有意義な時間でありました。同図右は



図-26

翌朝、当宿<sup>やど</sup>において、ご主人・女将さんと同宿したある家族と共に見送って下さった皆さんです。

その2;ある会館旅館(図-27)です。9日目の4月10日(水)お世話になった「槇尾会館」でのことです。最初に1週間近く前の予約の時、その後の前日連絡の時にも感じたのですが、ご主人は当該宿に到着するまでの私の歩き方——道順、この宿の位置、体調等——に対して、心底から気遣ってくれたのです、ひしひしと伝わって来ました。電話の声からは、見ず知らずの人にこんなに深い愛情を以って対応出来るのかという思いを持ち続けました。雨の日でしたが、当宿玄関で初対面した時の対応も変わりませんでした。その人は自身が経営者で、苦労を重ねつつ培って来た49?年間の接客業から滲み出る篤い心を感じました。



図-27

落ち着いた奥深き幅広き人、振る舞いの素晴らしい人でした。前日までと、明日以降も多くのお客さま

対応で忙しい、お手伝いさんも雇っているが、今日は私1人だけ、と言われました。夕食（朝食も）は主人自ら作ったとても美味しい上品な料理を御馳走になりながら、1時間30分ほど懇談させて頂きました。とても有意義な時間でした。

その3；あるログハウスも備えたビジネス旅館（民宿／図-28）です。35日目の5月6日(月)お世話になった「いのしし亭・桐山荘」のことです。ご夫婦で経営、着くと直ぐに我が儘をお願いし、瓶ビールに梅干しと沢庵漬けを付けて貰いました。お客に提供する野菜を自ら無農薬自家栽培、初めてのしし鍋——イノシシは自ら狩猟——はてんこ盛り、クセのない美味しいお肉に取りたての新鮮な野菜(白菜、ネギ、春菊、モヤシ等にうどん)！ 連休中は大勢のお客に対応したので寝不足、とのことでした。御主人は、サラリーマンを何年か務め中途退職、反原発運動・反消費増税運動は自ら先頭に立ち霞ヶ関への陳情も、3.11東日本震災地域やその他被災地域へのボランティア実働、里親、自治会役員、など広範な社会活動を実践して来たその体験話を伺いました、社会権力に対する正義の批判精神を持ちつつ、社会弱者に身を以って対応する、その姿勢・生き方に私は感動するのみでありました。ハイになることなく穏やかで理路整然と静かなしゃべり口調、しかし、熱い心意気を感じました。諸々の意見交換をさせて貰い、考え方に多々共通する処を感じました。翌日の満願日を控えた前夜祭でした、1時間30分ほどのとても有意義な懇談の時間でありました。



図-28



.....

この3人(3家族)はなんと素晴らしい、経験豊富、しかし、おごり高ぶり・大ぼら・自慢<sup>ひと</sup>の一欠片もなく、微塵もなく、とても謙虚で、とても柔軟な発想の持ち主でした。吾が地域コミュニティに跋扈しているカタブツ（大人心の奇形児）とは真逆、だからこのような素晴らしい人達と会える歩き旅に行きたくなります。

### b. いやなこと3題

その1；11日目の4月12日(金)の宿でのこと。管理者の女性（30大？）の問題姿勢です。着いて玄関で直ぐに内部の案内を受けた直後、バインダーに挟んだ用紙（屋内での注意事項を8項目に記述）とWiFiのパスワードメモを渡されました。そのバインダーを持ち荷物を部屋に置いて、すぐに離れている風呂場を確認して戻った処、すぐ様に『あの紙を戻して下さい』と言われたのです、その態度が引っ掛かったので、少し語気を強めて『宿内部の案内や注意事項を書いた用紙を見たか見ないうちに戻せ、と言われたのは何百回も泊まった中では初めてだ、“良く読んでお守りください”、と言うのが宿としての接客態度ではないか。』と話しました。また、寝巻きが200円という、それは良いとして、出したものが折り畳んでいないのだ、洗濯機から出して乾かしたままのダラリと皺<sup>しわ</sup>の長い状態で渡されたのです、また、語気を強めて『有料であれば、きちんと折り畳んで出すというのが常識ではないか』と話

した、「ここを任されてまだ2年目なので不慣れな処があって、すみません。」ということなので許してやりました。『私は特別・高級なもてなしを要求しているのではなく、客を受け入れる商売(営業)として、社会常識ある普通の対応をして貰えれば何の不満もないのだ。』と話し、人間の普通のあり方——①社会通念(客観常識)、②善管注意義務(善良な管理者としての注意義務)、③公序良俗——について対話しながら穏やかに論じました、下手な人生教師を務めました。

その2;風呂場での出来ごと、19日目の4月20日(土)の宿でのことです。大きな風呂場(浴槽は目算で約4m×3.5m)に入ったら、子供2人が浴槽内で「たらい(丸い桶)」を投げて遊んでいた、父親はもう1人の幼児を洗っていた、私は体の汚れをシャワーで落とし、浴槽に入ったが、その子供2人は、少し端の方に寄ったものの、遊びを止めずしぶきが私に掛かったので、“ここは遊ぶ所ではありません、止めなさい!”と語気を強めて注意しました。私が風呂場に入った、浴槽に入ったことはその親の視界に入っているはずですが、しかし、親は事前に一言も注意しなかったのです。“あまりに酷い”と親にも声を掛けようとしたが、収まったので止めました。少子高齢化の世、子供を社会全体で面倒見ようという掛け声はもっともであるが、乳呑子は別として、他人の幼児と雖も、他人にあからさまに迷惑を掛けるような子供は、私は容赦しません、厳しく当たります。子供だから仕方がない、大目に見て!とはなりません。私は子供3人を育てて来たが、親子同行時の公衆の面前での行動については、厳しく監視し、他人に迷惑を掛けることのないように細心の注意を払って来ました。

ある民宿の女将さんからの話です。“子供連れのお客さまは丁寧に拒否している、なぜならば、あれは嫌い・これが食べたい、などの我が儘放題、室内駈けっこ、障子を破る、やむを得ない点もあるが、親が注意して止めさせない、謝りが無い。”他にも子連れ拒否の宿がありました。

その3;その他迷惑行為のことです。

- ・ 混雑のホームでキャリーケースの取手を伸ばして引き摺って私の足に接触したことが今回も数回はありました、過失の誤った行為ではありません、危険を予測出来るはずなのに傍若無人(故意)の振る舞いです、私は口論しませんが、静かに抵抗反撃します。バックの後方を気付かれないようにダブルストックで突いて仕返しをしてやりました。
- ・ 新幹線内の座席でやたらと泣き叫ぶ幼児を抱えている人がいました、15分以上もそのままなので、“デッキに出なさい”と小声で言ってやりました。幼児ですから泣き叫ぶのはやむを得ないことです、しかし、あなただけの場・空間ではない、公衆道徳・社会通念を守れということです。

.....

共有する社会空間は、皆のものです、共有する人数分で除いた空間が割り当てられた空間です。社会常識を、我が国の義務教育を受けた人間の普通の良識を外れて、他人に平然と迷惑を掛けたものには、許容・受容の眼差しは向けません、それ相応のお灸を添えるのが適切な社会人であると思っている、狭量狭隘・浅学非才・非常な人間の私です。しかし、正義感を丸出しで、何でもかんでも見境なく振るいません。あまりにも酷い場合です。このような私の態度に対して、胡散臭い地域コミュニティの何とか長や諸々の嘘吐きペテン師議員諸侯以外からのアドバイスは大いに歓迎です。

#### (10) 人の違い(できとふでき)

ビジネスホテルのサービスのあり方について感じたことがあります。38日目5月9日(木)の同じ宿でのことです。

その1；受付に2人の男性がいました、『メモを下さい、A5かA4のプリンター用紙でもいいので1枚下さい』と言ったら、

○Aさん；最初に顔を会わせたこの人は、“このようなメモ紙しかない”と言って、小さな付箋1枚を割いて私に渡そうとしたので、私は“あれ？”というような怪訝な顔をしたら、

○Bさん；傍にいたもう1人が、パッと、私が望みのプリンター用紙を私にくれました。

その2；Wi-Fiの接続方法について、部屋にある接続方法ではなかなか繋がらないので、また、受付に行きました、別の2人がいて、

○Cさん；最初に顔を会わせたこの人は、“カードに書いて部屋に置いてある接続方法のとおりですが・・・”とそっけない返事でしたが。

○Dさん；傍にいたもう1人が、パッと、別の図柄にした1枚の接続説明書を私にくれました。これはとても分かりやすかったです。

.....

このホテルの社長は従業員に対して「お客さま第一、お客さまに寄り添った親切な対応を」と常々訓示しているはずですが、できる人とできない人の両人を採用してしまったのです。私の現役の会社時代で、上司から人事評価を受け、部下を人事評価した経験から次のことが言えます。AとCは、本給考課・賞与査定ともマイナス評価、BさんとDさんはプラス評価します。成果主義では当然の措置です。咄嗟に取ったA・Cの態度は一事が万事ということでしょう。私は亡き父親から生前「人間関係は、損して得取れだよ」とうるさく教えられて来ました。一時にケチると後で必ずしつべ返しを食らうということでした。例えば、このホテルに対する仕返しのシミュレーションです。もしも、AとCの対応で終わっていたら。ユニットバス内の水、不要・無用な水を出しっぱなしにします、エアコンを付けっ放しにします。私のもう1人醜い悪魔の権化がさく裂しかねないのです・・・、こういう意地悪はSNSで拡散します、他にも色々あるが私の手の内は公開しません。どんな商売もそうでしょうが、いうまでもなく、人間の心理にそぐわない商売は繁盛しません、お客さまから支持されません。騙してみたいなことをやると善良な市民から仕返しを食らいます。このような善悪両面は、性善説や性悪説などの学問を広げるまでもなく、神様が創造した人間という動物の特徴なのです。

## 12. 「一期一会」と「一会一期」

(フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』を参考)、「『一期一会』とは、茶道に由来する日本のことわざ。茶会に臨む際には、その機会は二度と繰り返されることのない、一生に一度の出会いであるということを心得て、亭主・客ともに互いに誠意を尽くす心構えを意味する。さらに「これからも何度でも会うことはあるだろうが、もしかしたら二度とは会えないかもしれないという覚悟で人には接しなさい、と戒める言葉」とあります。私から言わせれば対等互敬(恵)のステージです。字句を入れ替えた「一会一期」は既知の造語なのかもしれませんが、一度会って得た素晴らしい思い出が一生

(一期) 続く、残るということでしょう。「先後は後先なり」の表裏一体の意味合いを感じます。人間みな個性があってお互い様なのに、自分を棚に上げ他人に対しては、愚鈍あるいは利発の目を以って批評します、しかし、新地の旅先世界ではそんなことは分かり様がありません、そこです、他者の善悪を分別しようがありません。何とも明るく清々しい世界です。だから、それぞれの喜びや楽しみや苦勞・難儀を無償交換、そこに真の深い共感が生まれます、しかし、それもそれっ切りです、引き摺りません。

世の中、生きていると、意図せずとも様々な新しい出会いが生まれます、と言っても、私の場合は、

会社現役時代から比べれば、退職後はぐんと減りました。ましてや、65歳からは、趣味などの何とか会という処から一つずつ脱退し、町内会関係のスタッフ・役員も6年ほど係ったが、68歳にして全てから退きました。日常における地元での新しい出会いの発見はほとんどなくなりました。何も寂しくありません、退会は強い意志で自らの判断で行った故に何も寂しくありません。

今はとっても身軽です、「悠々自適」にしたい！ 人生フリーウェイです。

よく使われる「悠々自適」ですが、その語源について、前出安岡正篤氏は「<sup>まさひろ</sup>醉古堂<sup>すい ことうけんそう</sup>劍掃 (PHP 文庫)」の中で次のように解説しています。「・・・漢民族は、遊牧・狩猟から農耕生活を営むようになったが、最初に一番困ったのが、黄河の氾濫であった、ある所に治水工事をやると、水はとんでもない所に転じて、思わざる災害を引き起す・・・長い間、治水に苦しんで到達した結論は『水に抵抗しない』ことであった、すなわち水を自由に遊ばせる、これを『自適』と言った、抵抗がないから自然に落ち着いて、ゆったりとおのずからにして行く、これが『悠々自適』です。」とても含蓄のある好い訓えを学びます。私は、誠実で人間味豊かな素敵な人との<sup>(注1)</sup>水と油の関係性で、<sup>(注2)</sup>塩水の関係性を以って、1年に数度会う程度の近付き方です。日常的・普段の人間関係としては十分、満足しています。決して、ネチネチ・ドロドロの砂糖水<sup>(注1)</sup>の関係にはしません。

**(注1・2)** 私の場合は従来の一般的な捉え方とは異なります。敢えてこのような言い方をしている明確な意味・理由はありますが、ここではいちいち記述しません。

ところで、それでもダメです。本当は『莊子』にある「人との交わりは<sup>たん あわ</sup>淡(淡きこと)、<sup>みず</sup>水の若し」です。なぜならば、水と油、水と塩では所詮は混ぜ物・混ざりものです、水1種類の一つの無味淡泊にこそ真味があるというものです。この歳になって情愛の濃いネチネチ・ドロドロの世界はまったく不要です。私は極めて淡泊な対人関係で満足しています。

### 13. 締め

残された吾が余命は、対人環境からの束縛は一切ご無用です、自由奔放の天国・極無限の自由世界で遊ぶ気分を味わいたく、それはまさに旅に出ることです。特に歩く旅に出れば、日常のしがらみから解き放された『一期一会』、そして、『一会一期』を満喫出来る理想郷に浸れるのです。旅の世界はこんな小心者・臆病者の私を相手にしてくれます。

日常は「悠々自適と<sup>行</sup>晴耕雨読」、そして時々、緊張感も強いられる「一期一会と一会一期」を貰ったり、お届けしたりの旅三昧、最高の人生です。2010(平成22)年——一定年退職の翌年61歳から今日までの10年間に遊学紀行を楽しんで来ました、その旅先では最低でも1千人以上と会話・交流を図って来ました。現地では親しくなって住所・携帯電話番号を交換したのは10人近くいたと思うが、年賀などの書状あるいは電子メールなどによる定期交信は一切やっていません。それをやってしまうと娑婆と同じ、しがらみと腐れ縁で雁字搦めになってしまいます。一期一会の環境に、お互いに“囲い込む・囲い込まれる”関係は生じません、損得感情や取引観念が生まれません、つまり、相手を、他人を『支配』する

という一番醜い<sup>きぼころ</sup>牙心<sup>きぼころ</sup>の出る幕はないのです。お互い様の『一会一期』の思い出、素敵な“こころ”のプレゼントを貰えます。といっても私の記憶力の範囲内にしばらくは留まりますが、早々に忘却の彼方へ霧消して行きます。

「この俺の欲しいと思う一滴<sup>ひとしずく</sup> 玉<sup>き</sup>より漏れる稲妻の光<sup>み</sup>（香）<sup>こ</sup>」

「吾れひだにしかと刻むや個の華<sup>ばな</sup>を 一会<sup>いちえ</sup>は一期<sup>いちごあとあじ</sup>後味引かず」です。

素敵なお縁を与えて下さった皆さんに感謝感謝の大感謝です、大感激です。

ところで、この西国<sup>さいごく</sup>へんろでは、他に通し打ち、あるいは区切り打ちで徒歩巡礼を行っている人とは一人も会いませんでした。もちろん多数の参拝者がいた札所（寺院）はあったが、みんな車利用者でした。現代にあっては、徒歩巡礼者から見れば、四国霊場<sup>しごく</sup>の方が格段に人気が高い、格別だということでしょうか。

## 《 補 完 資 料 》

本文を補完するもの、本文に関連するものを補完資料として整理しました。

【補完資料－１】 行動の節目

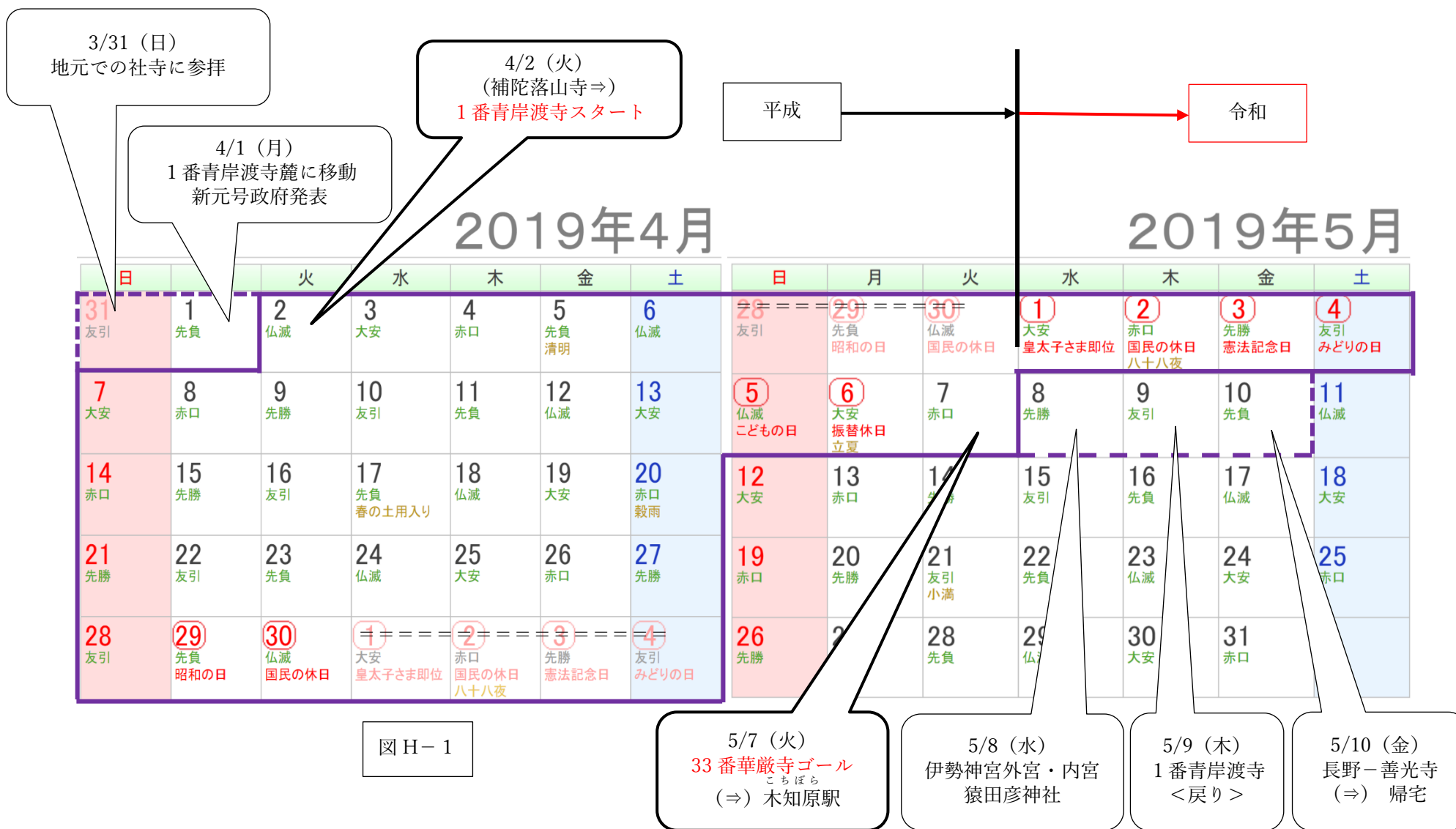
【補完資料－２】 観音信仰

【補完資料－３】 西国三十三所の御本尊と宗旨

【補完資料－４】 連休中の宿確保に係ること

【補完資料－５】 ピックアップ写真

【補完資料-1】行動の節目 (図 H-1)



10連休にも関わらず、宿の関係者には心より感謝申し上げます。連休明けの初日5月7日(火)に満願達成となりました。



2019年 平成から令和へ 元号転換点



ホテルパスタタイム



ビジネスホテルれんが

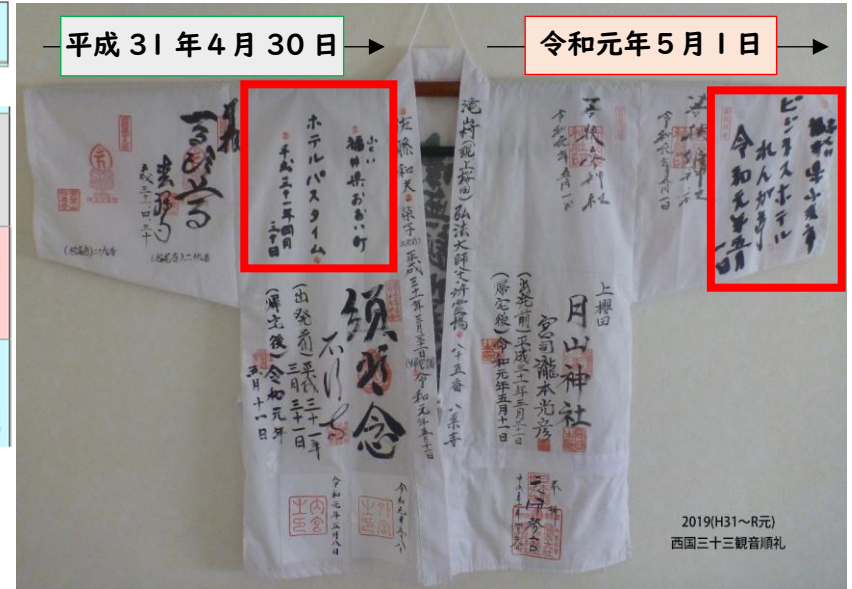
平成 →

4月  
April (卯月)

日	月	火	水	木	金	土
28 友引	29 先負	30 仏滅	1	2	3	4
28	29	30	1 大安	2 赤口	3 先勝	4 友引
5 仏滅	6 大安	7 赤口	8 先勝	9 友引	10 先負	11 仏滅

5月  
May (皐月)

令和 →



## 【補完資料－２】観音信仰

「西国三十三所札所会事務局」のホームページなどを参考に手短かに記載します。

この三十三という数字に意味があって、『法華経』普門品第二十五『観音経』に、観世音菩薩が仏身、帝釈身、毘沙門身など三十三の姿に化身して人々の心の悩みや苦しみを救うと説かれ「いつ、いかなる困難に出会っても、観音菩薩は慈悲の心で常に人々を見守っておられる、観音様にお参りし手を合わせれば救われる。」という信仰が生まれたという。このような観音信仰は何時の時代も、多くの日本人の拠り所になって今日に伝わって来たということです。

なお、菩薩とは仏教的には、仏陀(悟った人)になる前の段階で修行している仏(人)を指すといえます。正確には「観世音菩薩」といい、観自在菩薩、観音菩薩、観世音、観音様とも云う。『般若心経』の冒頭に「観自在菩薩 行深般若波羅蜜多時・・・」とあるとおり、初めに観自在菩薩が出て来ます、人間のあり様に重ねて「自在(自由)を観ずる大いなる人間性」の象徴をいいます。

その1；冒頭の『観音経』でいう化身とは図(表)H-2 (インターネットより拝借)のとおりです。しかし、どういう訳か現実の観音霊場ではほとんど見かけない、馴染みがない観音様です。

その2；一方、馴染みの深い観音信仰は、浄土教の六道輪廻思想と結び付きました。対応関係は、図(表)H-3a・3b (ウィキペディア他より拝借)のとおり。六道とは六つに分けた苦しみの世界です、死後に行くあの世のことと思われがちですが、生きている人間の心の状態をいいます。仏さま(悟りを開いた仏陀)にならない限り、この六道輪廻の世界からは、脱出(解脱)出来ないと云われています。つまり、六道の無限ループにいる限り苦しみや煩惱に悩まされ続けます。しかし、願わくば六道輪廻の呪縛から解脱した仏の世界に行きたいという願望信仰から観音様(六観音)にお参りする

のです。そんな無限ループから救い出してくれる仏の一つは如意輪観音と云われており、六道の中でも天道に迷う者を救う仏様として信仰されています。

◎ 三十三観音			
	観音名		観音名
1	楊柳(ようりゅう)観音	18	岩戸観音
2	竜頭(りゅうず)観音	19	能静(のうじょう)観音
3	持経(じきょう)観音	20	阿耨(あのか)観音
4	円光観音	21	阿摩提(あまだい)観音
5	遊戯(ゆうげ)観音	22	葉衣(ようえ)観音
6	白衣観音	23	瑠璃観音
7	蓮臥(れんが)観音	24	多羅尊(たらそん)観音
8	滝見観音	25	蛤蜊(こうり)観音
9	施薬(せやく)観音	26	六時(ろくじ)観音
10	魚籃(ぎょらん)観音	27	普悲観音
11	徳王(とくおう)観音	28	馬郎婦(めろうふ)観音
12	水月(すいげつ)観音	29	合掌観音
13	一葉(いちよう)観音	30	一如(いちによ)観音
14	青頸(しょうきょう)観音	31	不二(ふに)観音
15	威徳観音	32	持蓮(じれん)観音
16	延命観音	33	灑水(しゃすい)観音
17	衆宝(しゅうほう)観音		

図(表)H-2

りくどう 六道の世界		人間界への転生	六道救済（抜苦）の 対応観音 ＜六観音＞
三善趣 (三善道)	てん どう 天道	・ 神々や天人が住まうとされる世界 ・ 一時の幸福や快樂を感じている状態	如意輪観音
	にんげんどう 人間道	・ 我々人間が住む世界 ・ 平常でも善にも悪にも傾きやすい状態	准胝観音(真言) (不空罽索観音/天台)
	しゅら どう 修羅道	・ 怒りのままに常に戦い続ける世界 ・ 自分の正義に凝り固まり、慈悲の心を失った状態	十一面観音
三悪趣 (三悪道)	ちくしょうどう 畜生道	・ 人間以下の動物性が跋扈する弱肉強食の世界 ・ 動物的本能のままに行動する状態	馬頭観音
	がき どう 餓鬼道	・ 強欲で非情な人間の成れの果ての世界 ・ 満たされない欲望により、心身ともに苦しむ状態	千手観音
	じごくどう 地獄道	・ 快樂のない苦しみだけの世界 ・ この世の全てを不幸に感じる状態	聖観音
図(表)H-3a			

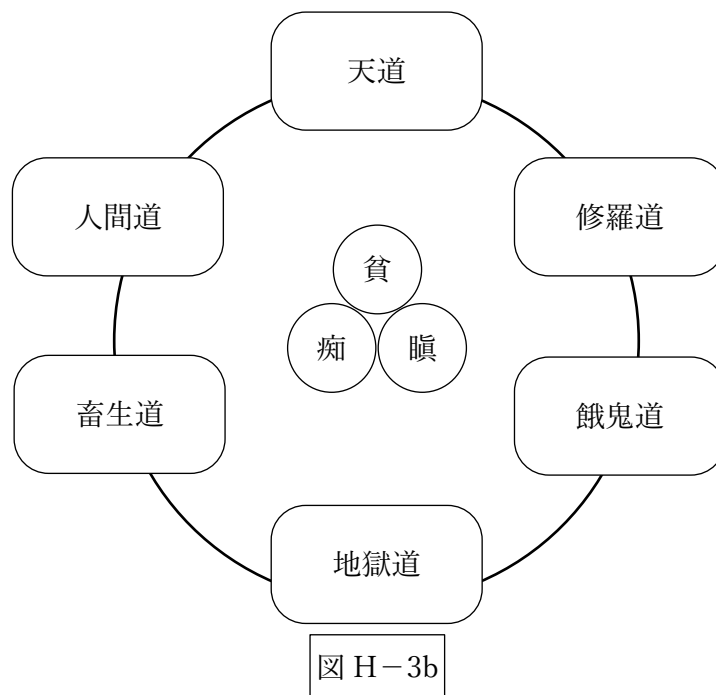


図 H-3b 中の「貪瞋痴」とは仏教で「心の三毒」と言われております。

「貪」とは、むさぼることで貪欲に際限なくあれこれを欲して執着することです。物欲、あるいは金銭欲、性欲が強すぎることを貪と言います。

「瞋」<sup>じん</sup>とは、感情のままに怒りをぶちまけることです。自分に気に食わないものに対して激しく怒ったり、妬<sup>ねた</sup>んだり、恨<sup>ねた</sup>んだりすることです。

「痴」<sup>ち</sup>とは、真理を求めようとせず、真理を知らず、物事の理非曲直の区別が付かない・判断出来ないことの無知をいいます。知識の知ではありません。

.....

この三毒を私は山ほど自覚しています。人間みな持っている性<sup>さが</sup>です、お互い様です。この三毒を持つ人間である限りにおいては、考え方、思想信条が違うからと言って相手を攻撃する、屈服させる権利など寸分も無いのです、しかし、すっかり、三毒の所有者であることを忘れ、悟った仏陀のように振る舞うものだから戦い・争うのです。この三毒に軽重の序列は無いはずだが、私は思うに還暦を過ぎて、まもなく棺桶に足を突っ込みそうな姿態になっても、いい大人が「瞋」<sup>じん</sup>を振り回し、「ねたむ・ひがむ・しょねむ」言動は一番醜いと思っています。このような臭を感じたら近付かないことにしています。

その3；図H-4（東京国立博物館 HP より）は、左より、聖観音、千手観音、馬頭観音、十一面観音、准胝観音、如意輪観音です。いずれも馴染みの深い観音様です。



図H-4

その4；日本には、「西国三十三所観音霊場」を本場霊場とし、同場参拝と同じご利益<sup>りやく</sup>が得られるとする「写し霊場」が山ほどあります。

【補完資料－3】西国三十三所の御本尊と宗旨／図(表)H-5

札番	寺名		本尊	宗旨
第1番	ナチサン 那智山	セイガントジ 青岸渡寺		如意輪観音 天台宗
第2番	キミイサン 紀三井山	コンゴウホウジ 金剛宝寺	キミイ テラ 紀三井寺	十一面観音 救世観音宗
第3番	フウモウサン 風猛山	コカワデラ 粉河寺		千手観音 粉河観音宗
第4番	マキノオサン 槇尾山	セフクジ 施福寺		千手観音 天台宗
第5番	シウンザン 紫雲山	フジイデラ 葛井寺		千手観音 真言宗御室派
第6番	ツボサカサン 壺阪山	ミナミホツケジ 南法華寺		千手観音 真言宗(豊山系単立)
第7番	トウコウサン 東光山	オカデラ 岡寺	リュウガイジ 龍蓋寺	如意輪観音 真言宗豊山派
番外	フザン 豊山	ホウキイン 法起院		――― 真言宗豊山派
第8番	フザン 豊山	ハセデラ 長谷寺		十一面観音 真言宗豊山派
第9番	コウフクジ 興福寺	ナンエンドウ 南円堂		不空羂索観音 法相宗
第10番	ミョウジョウザン 明星山	ミムロジ 三室戸寺		千手観音 本山修験宗
第11番	ミュキサン 深雪山	カミダイゴジ 上醍醐寺	ジュンデイドウ 准胝堂	准胝観音 真言宗醍醐派
第12番	イワマサン 岩間山	ショウボウジ 正法寺	岩間寺	千手観音 真言宗醍醐派
第13番	セッコウザン 石光山	イシヤマデラ 石山寺		如意輪観音 東寺真言宗
第14番	ナガラサン 長等山	オンジョウジ 園城寺	ミイデラ 三井寺	如意輪観音 天台寺門宗
番外	カチョウザン 華頂山	ガンケイジ 元慶寺		――― 天台宗
第15番	シンナチサン 新那智山	カンノンジ 観音寺	イマクマノ カンノジ 今熊野観音寺	十一面観音 真言宗泉涌寺派
第16番	オトワサン 音羽山	キヨミズデラ 清水寺		千手観音 北法相宗
第17番	フダラクサン 補陀洛山	ロクハラミツジ 六波羅蜜寺		十一面観音 真言宗智山派
第18番	シウンザン 紫雲山	チョウホウジ 頂法寺	ロツカクドウ 六角堂	如意輪観音 天台系単立
第19番	レイユウザン 霊麿山	ギョウガンジ 行願寺	コウドウ 革堂	千手観音 天台宗
第20番	ニシヤマ 西山	ヨシミネデラ 善峯寺		千手観音 善峯観音宗(天台系単立)
第21番	ホダイサン 菩提山	アナオウジ 穴太寺		聖観音 天台宗
第22番	フダラクサン 補陀洛山	ソウジジ 総持寺		千手観音 高野山真言宗
第23番	オウチョウザン 応頂山	カツオジ 勝尾寺		千手観音 高野山真言宗
第24番	シウンザン 紫雲山	ナカヤマデラ 中山寺		十一面観音 真言宗中山寺派
番外	トウコウザン 東光山	カザンイン ホダイジ 花山院菩提寺		――― 真言宗花山院派
第25番	ミタケサン 御嶽山	ハンシュウキヨミズデラ 播州 清水寺		千手観音 天台宗
第26番	ホツケサン 法華山	イチジョウジ 一乗寺		聖観音 天台宗
第27番	ショウシャザン 書寫山	エンギョウジ 圓教寺		如意輪観音 天台宗
第28番	ナリアイサン 成相山	ナリアイジ 成相寺		聖観音 真言宗(古義系単立)
第29番	アオバサン 青葉山	マツノオデラ 松尾寺		馬頭観音 真言宗醍醐派
第30番	ガンコンサン 厳金山	ホウゴンジ 宝厳寺	チクフシマ 竹生島	千手観音 真言宗豊山派
第31番	イキヤサン 姨綺耶山	チョウメイジ 長命寺		千手観音、十一面観音、聖観音 単立
第32番	キヌガササン 織山	カンノシヨウジ 観音正寺		千手観音 単立(天台系)
第33番	タニグミサン 谷汲山	ケゴンジ 華厳寺		十一面観音 天台宗
	[Wikipedia:ウィキペディア]より引用			図(表)H-5

## 【補完資料－４】連休中の宿確保に係ること

その１； 丸１日歩く先に適切な宿がない場合のことです。西国三十三所参詣古道ルートは、図 H-6 のように福井県小浜市から東南方向の福井県・滋賀県境方面に通っています。小浜線新平野駅周辺以降、ルート沿い（同駅から県境までは約 12km）には宿がありません。したがって、30 日目の 5 月 1 日（水）は、新平野駅から 16：42 発小浜線鉄道利用により、小浜市に戻る形で同駅前の「ビジネスホテルれんが亭」に投宿したのです。翌日は、宿から早朝の鉄道利用により新平野駅に戻って下車しました。

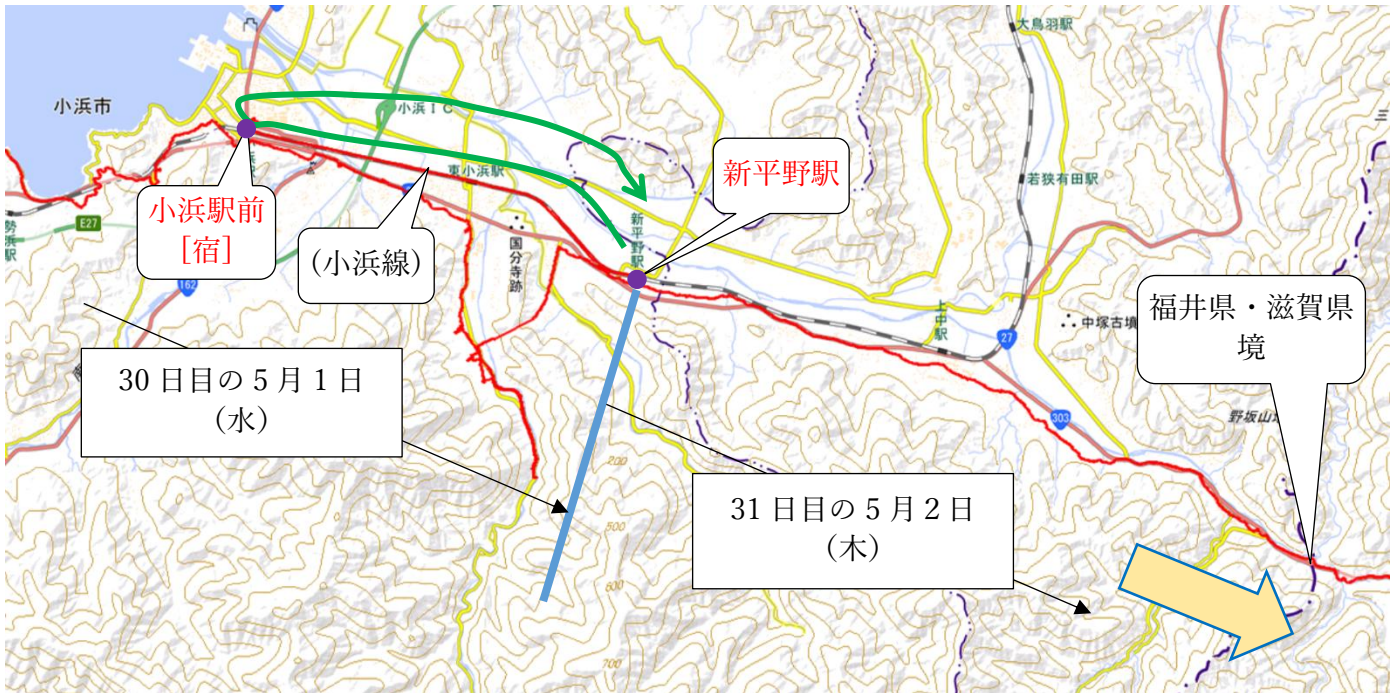
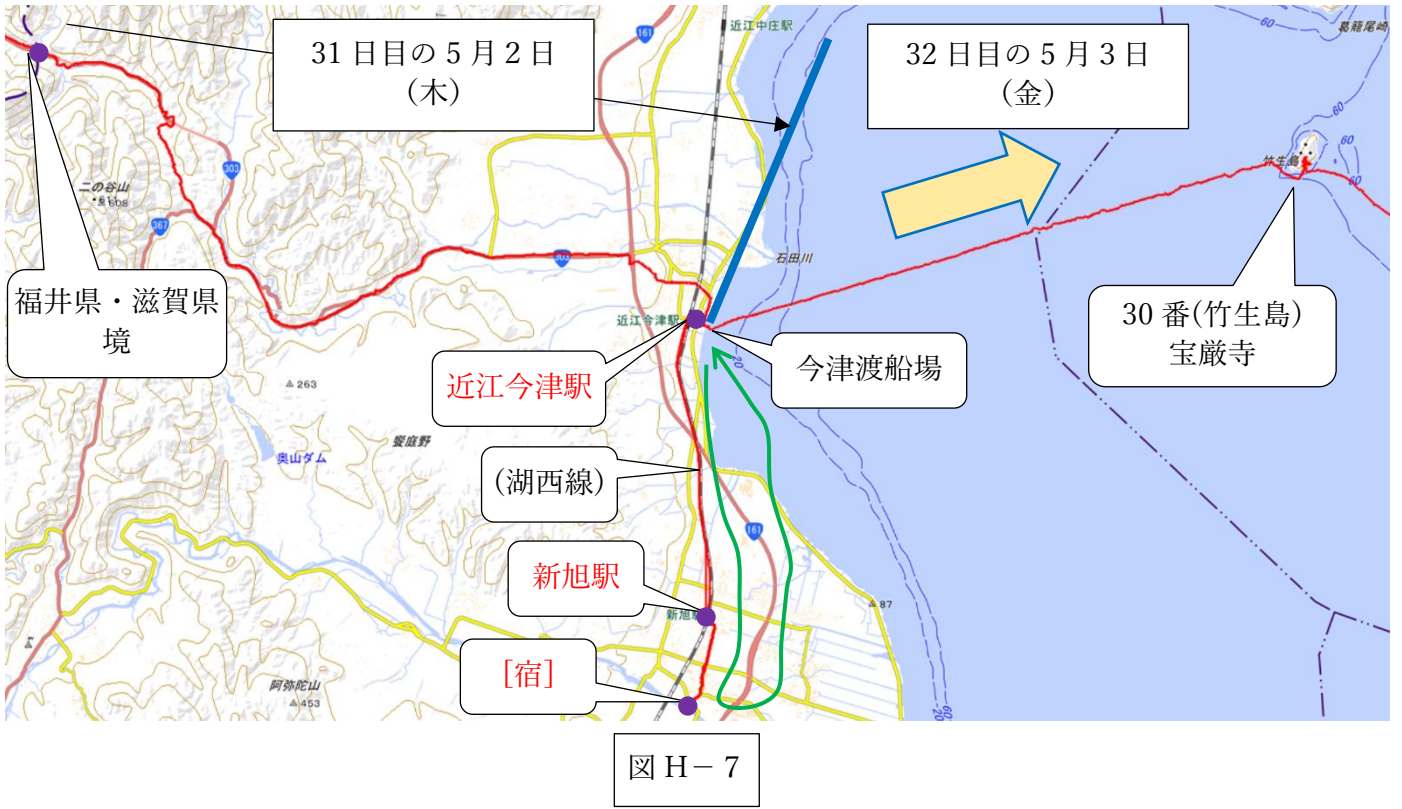


図 H-6

参詣古道ルートには歩かない空白区間は生じさせないこととして、前日の終基点に戻り、7時54分歩行スタートとなりました。進行方向において、希望するエリアに宿がない場合は、その先を目指して頑張るか、それとも、本例のように、戻る形のエリアに探すのかという択一の判断を迫られます。

その２；ゴールデンウィーク中で宿の確保に難儀を要した件です。西国三十三所参詣古道ルートは、図 H-7 のように福井県・滋賀県境から近江今津に至り、その渡船場から船（今は観光船）に乗り、琵琶湖内北部の竹生島ちくぶしまにある 30 番宝厳寺に行くこととなります。ここ近江今津渡船場には結果的には 15 時頃に着きました。

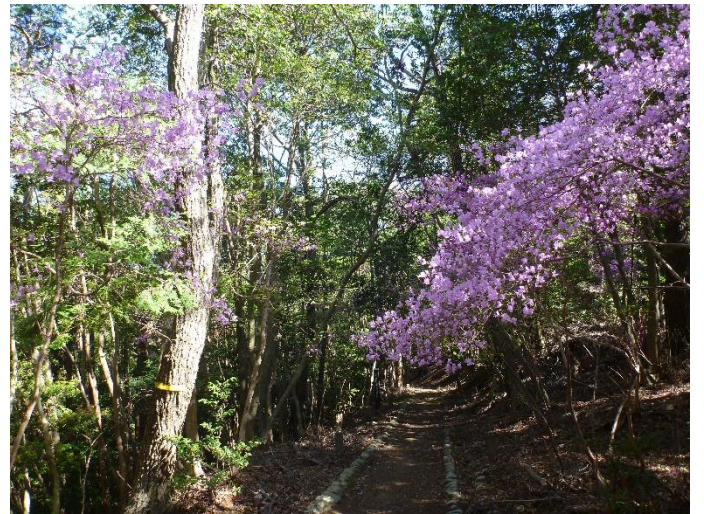
さて、31 日目 5 月 2 日（木）の宿探しの件です。5 日前から今津周辺の宿——2km 圏内に 10 数軒はある——を探していたのですが、全部チェックしたがどこも満杯でした。事情を聞くと、子供達のスポーツ合宿、スポーツ大会のために半年前から予約済とのことでした。竹生島内には宿はありません。仕方がないので、湖西線鉄道利用により新旭駅まで行き、そこから 2km 先の「鳥居楼」まで歩いて投宿しました。翌日は、宿から早朝の鉄道利用により近江今津駅に引き返して、つまり、前日の歩行終基点に戻り、渡船場から 9 時 10 分発臨時便の船に乗りスタートとなりました。したがって、参詣古道ルート上に歩かない空白区間は生じさせてはいません。



【補完資料-5】ピックアップ写真









隣家の佐藤さん夫婦



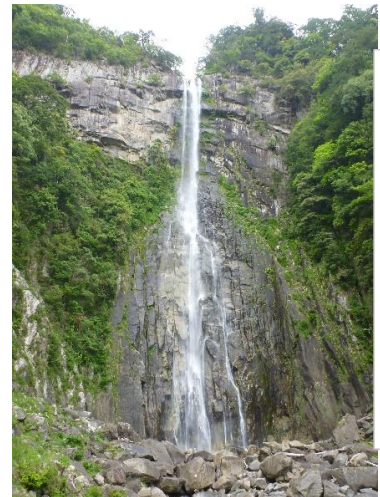
東大寺 二月堂



納経軸を入れた筒



一番青岸渡寺



那智の滝



青岸渡寺

熊野那智大社



33 番華嚴時



竹生島に行く観光船(右)



竹生島宝厳寺本坊

## 《 おわりに 》

私の生きる苦海浮世くかいに因縁生起(※1)の法則あり、有相無相に因果応報(※2)あり、我執常住(※3)——吾が身は不滅と妄想しつつ、他方で愚痴・嘆き、如何ともし難い中にも、凜と立つ自主独立・独立自尊の「個香華」を満開こかばなに咲かせたく、右往左往している日々です。

最近までは、『(※4)蓮』(図-29)のようになりたいと思っていました、それもいいが、この頃急変、『(※5)梅花藻』のようになりたいと思うようになりました。

ままならぬ五濁悪世ごじよくあくせに塗れながら自由を満喫まみすべく強い意志を持って生きたいと念願しています、その気持ちのストレートな呼応表現として“蓮に学びたい”と思っていました。しかしです、……。日常生活に関わる環境を少しでも綺麗にたく、日々止めども無く流れ来る冷たい風にも耐え抜き、日々に降り懸かる雑事・刺激をしっかりと取捨選択して生きたく“梅花藻に見習いたい”と思うようになったこの頃です。しかし、……。⇒(次ページ後段へ)

(※1) 現象的事物はすべて因(直接原因)と縁(間接原因)との二つの原因が働いて生ずるとする仏説をいう。

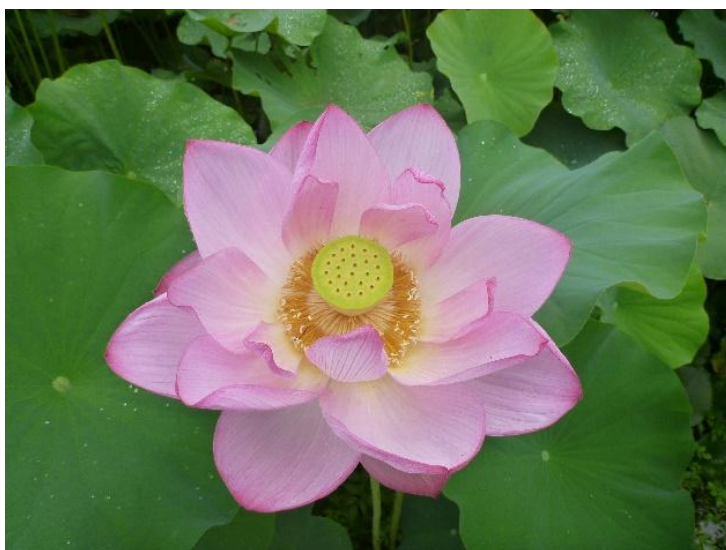
(※2) 原因としての善い行いよをすれば善い結果が得られ、悪い行いは悪い結果もたらを齎もたらすとする仏説をいう。

(※3) 自身の存在の中に実体的な我があるとする考えに執着する仏説をいう。

(※4) その身(下半身)は水中下、淀んだどろどろの臭い・汚い泥田で生育・成長し、水上(上半身)にはピンク色の大柄な花を付けます、水面上の花は泥に染まらず綺麗に咲きます。しかし、清らかな水の流れがある処には育ちません。高原はいくら空気がきれいでもそこには生えませんが、また、芳香を放ち水辺の女王と言われます。

泥中の下半身は、煩惱・生老病死に苦悶する人間と娑婆界、花を見せる上半身は、そのような修羅場を抜け、悟りを開いた境地——それを感じた仏陀でない人間界では菩薩を目指し、刻苦勉励・粉骨碎身で邁進するものには必ずや心の幸せが約束されるという人間道の有り様を重ねています。

(※5) 梅花藻は、その身は冷涼で清らかな流れのある水中で生育・成長し、水上には清楚で白い花(花弁は5枚、桜似)を付けます、水面上の花は冷たさを嫌わず綺麗に咲きます。しかし、滞留し汚れた生温なまぬるい水質では生育しません。(次頁図-30)



(注1) 図-29について、以前は吾が居住地上桜田地区の東北芸術工科大学北東側民地に、2014(平成26)年までは池一杯に見事な蓮の花が咲いていました、しかし、翌年からは枯れ始め、2016(平成

図-29(注1)



図-30<sup>(注2)</sup>

28)年にはすっかり枯れてしまいました。なお、本写真は2013(平成25)年8月23日(金)に撮影したものです。

(注2) 図-30 について、隣地区は土坂地区の阿弥陀清水<sup>あみだすず</sup>の流れに咲く梅花藻の花です。なお、本写真は2019(令和元)年6月12日(水)に撮影したものです。

個別の生育環境は正反対のように見えます。⇒ しかしです、共通環境は、太陽(火)と水の恵み、神<sup>かみ</sup>(火水)の力を受けて咲きます、花の色はめでたい紅白の対です、いずれにしても、教わる処(訓え)は同じです、無常の世!はどうかあれ、この二つを胸に人生万般、諸々の動機をきれいに、心をきれいに、結果をきれいに!・・・。

(完)

2019 (平成 31⇒令和元) 年 12 月 31 日 (火)

山形県山形市上桜田

☎080-3338-3738

✉dreamyok@hotmail.co.jp

